

令和5年度 政策・施策評価 個表

資料①-3

基本政策	01 健やかでいきいきと暮らせるあたたかさあふれるまちづくり (市民福祉の向上)			政策	01 社会福祉の充実			
施策	01 地域福祉の推進		部局	福祉保健				
評価指標								
指標名	総合 計画	総合 戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度		目標値 (目標年度)
福祉協力員を配置している校(地)区社会福祉協議会の数	○		8校区	15校区	9校区	d	2.0点	20校区
内部評価 (2次評価)								
分析・評価								評価
<p>【分析】 地域福祉の担い手である民生委員・児童委員を支援するための「庁内サポート体制」は他都市からも高い評価を受けているが、福祉協力員を配置している校(地)区社協の数は9校区に留まっており、計画以下で推移している。</p> <p>【評価】 大分市社会福祉協議会を通じて、地域福祉に関する取組を推進しているものの、指標が計画値を下回って推移しており、施策展開における改善が必要であるため、C評価とする。</p>								<p>C</p> <p>施策展開における改善が必要</p>
今後の施策展開								
<ul style="list-style-type: none"> 福祉協力員の配置数の増加に向けて、令和4年度からモデル事業を実施している。今後も引き続き、市社協と協議を行う中で、配置に向けた取組を推進する。 地域福祉の充実に向け、今後も引き続き小地域福祉ネットワーク活動やふれあい・いきいきサロン事業等の活動を支援する。 								
【参考】・(緑)実施計画継続事業・重点事業 ・(黒)主な事業								
<ul style="list-style-type: none"> 民生委員児童委員活動費等交付金 社会福祉協議会運営補助金 大分市地域福祉計画推進事業 								
委員意見								
<p>【山城委員】 地域福祉協力員について、民生委員・児童委員の支援を充実させるために、活動のPRを強化し、地域での認知度を高める活動を行っていただけると良いかと思えます。また、市として、研修機会の拡充や活動費の増額など支援を拡充することも必要でないかと考えております。</p> <p>【河部委員】 福祉協力員を配置するなど、地域福祉の担い手を支援体制を整備するなど、地域福祉の推進に向けて取り組んでいるが、少子高齢化・人口減少の中、地域において人材の確保は難しく、指標の福祉協力員を設置している校区社会福祉協議会の数の目標達成が難しいと思われる。 本計画や大分市地域福祉計画などに基づき、地域福祉を推進する取組や担い手づくりに、関係機関や団体等と連携しながら取り組んでいることから、今後、目標設定するにあたり、既存に加え他の指標を加えることで、施策の効果が市民に分かりやすくなるのではと考える。</p> <p>【張委員】 評価指標として、「地域に有る社会課題の認知度」、「福祉協力員(ケースワーカー)の受援者の数」を検討してみてもどうか。</p>								

※1 <評価指標の達成度> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
(a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	01 健やかでいきいきと暮らせるあたたかさあふれるまちづくり (市民福祉の向上)	政策	01 社会福祉の充実				
施策	02 子ども・子育て支援の充実	部局	子どもすこやか 福祉保健 市民				
評価指標							
指標名	総合計画	総合戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度	目標値 (目標年度)
保育施設利用待機児童数	○	○	0人	0人	0人	a 5.0点	0人
放課後児童クラブを利用できなかった児童	○	○	11人	0人	0人	a 5.0点	0人
大分市子育て支援サイト「naana」アクセス数	○	○	427,034件	500,000件	416,368件	d 2.0点	500,000件
3歳児健診でのむし歯保有率	○		11.70%	15.80%	9.20%	a 5.0点	10%以下
内部評価 (2次評価)							
分析・評価							評価
<p>【分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年4月1日時点の待機児童数については0人で令和2年度以降、4年連続0人を達成しているものの、1・2歳児の未入所児童数は依然として多い。 「放課後児童クラブを利用できなかった児童」については、令和4年度1月の金池小学校の施設整備により解消し、計画値を達成した。 大分市子育て支援サイト「naana」については、イベントの中止や規模の縮小によるイベント関連の掲載が少なかった影響を受け、アクセス件数が伸び悩んだ。 「3歳児健診でのむし歯保有率」については、11.7%から9.2%に減少し、目標値を超える達成状況となった。 <p>【評価】</p> <p>大分市子育て支援サイト「naana」のアクセス件数はわずかに減少したものの、保育施設利用待機児童数、放課後児童クラブを利用できなかった児童は0人を達成し、3歳児健診でのむし歯保有率は大幅に減少しており、順調に施策を展開していることから、A評価とする。</p>							<p>A</p> <p>順調に施策を展開している</p>
今後の施策展開							
<ul style="list-style-type: none"> 利用希望者数は昨年に比べ増加しており保育の需要は依然高い状況が続いている。今後も保育ニーズの動向を見ながら、待機児童ゼロの継続と、未入所児童数の削減に向けて必要な定員の確保に努める。 児童育成クラブに対するニーズも増加しており、民間放課後児童クラブの活用も含め、さらなる定員拡大やサービスの質の向上に向けた取組を行っていく必要がある。 大分市子育て支援サイト「naana」による情報が子育て世帯に行き渡るよう、naanaパートナーとも連携し、交流会の開催等を通じて、より効果的な情報発信に努める。 認可外保育施設を利用する保護者の経済的負担の軽減と子どもが健やかに生まれ育つ環境の整備を目的に、保育を必要とする第2子以降3歳未満児の保育料を令和6年4月から無償化(上限有り)する。 子育て世帯の経済的負担を軽減するため、保護者が支払う医療費の自己負担額の助成を行う子ども医療費助成事業について、令和6年4月診療分より助成範囲を高校生まで拡充する。 							
<p>【参考】 ・(緑)実施計画継続事業・重点事業 ・(黒)主な事業</p>							
<ul style="list-style-type: none"> ・すくすく大分っ子応援事業・子ども医療費助成事業・子育て世帯訪問支援事業 ・子育て短期支援拡充事業・母子生活支援施設建設事業・市立認定こども園設置事業 ・保育所等におけるICT化推進事業 ・大分市子育て支援サイト運営事業・親子通所事業・母子生活支援施設運営事業 ・地域コミュニティ子育て応援事業・児童手当給付事業・妊産婦・乳幼児健康診査事業 							
委員意見							
<p>【張委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供を育てる際に教育費や生活費の支出が増えると考えられるので、子供の教育に係る費用を調査する事によって、出生率や子供の支援の指標が検討できるのではないかと思います。 							

※1 <評価指標の達成度> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
(a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	01 健やかでいきいきと暮らせるあたたかさあふれるまちづくり (市民福祉の向上)	政策	01 社会福祉の充実				
施策	03 高齢者福祉の充実	部局	福祉保健				
評価指標							
指標名	総合 計画	総合 戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度	目標値 (目標年度)
認知症サポーター養成講座受講者数(累積)	○	○	48,282人	50,000人	50,105 人	b 4.0点	65,000人
地域ふれあいサロン利用登録者数	○	○	10,057人	11,850人	9,029人	d 2.0点	14,300人
短期集中予防サービス(パワーアップ教室)利用者数	○		574人	810人	574人	d 2.0点	830人
健康づくり運動指導者認定者数(累積)		○	1,027人	1,040人	1,043人	b 4.0点	1,137人
内部評価(2次評価)							
分析・評価							評価
<p>【分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「地域ふれあいサロン」については、サロン数が令和4年度は291箇所となっており、令和2年度の304箇所から減少した。新型コロナウイルスの影響や、担い手不足が要因となり、計画値を下回る状況になっている。 「認知症サポーター養成講座事業」については、企業サポーター数の増加および小・中・高生の「認知症キッズサポーター」の養成に取り組んでいることもあり、概ね計画通りに進捗している。 <p>【評価】</p> <p>地域ふれあいサロン利用登録者数、短期集中予防サービス(パワーアップ教室)利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、計画以下の推移であったものの、認知症サポーター養成講座受講者数(累積)、健康づくり運動指導者認定者数(累積)は計画値以上で推移していることから、B評価とする。</p>							<p style="font-size: 24pt; font-weight: bold;">B</p> <p>概ね順調に 施策を展開 している</p>
今後の施策展開							
<p>・地域ふれあいサロンやパワーアップ教室等の事業を進めることで、高齢者の生活機能を維持し、自立した生活を送ることができるよう、介護予防・重度化防止の取組を推進する必要がある。また、介護給付費適正化に取り組むことにより、介護給付を必要とする受給者を適切に認定し、受給者が真に必要な過不足のないサービスを適切に提供できるよう事業者に促し、持続可能な介護保険制度の構築を図る必要がある。</p> <p>今後も、高齢者人口が増加する中、可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるように「地域包括ケアシステム」の構築を着実に進める。</p>							
<p>【参考】 ・(緑)実施計画継続事業・重点事業 ・(黒)主な事業</p>							
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症初期集中支援推進事業 ・軽費老人ホーム事業費補助事業 ・介護給付費適正化事業(介護給付費通知) ・高齢者住宅改造費助成事業 							
委員意見							
<p>【甲斐委員】</p> <p>・短期集中予防サービス(パワーアップ教室)は、他の自治体でも効果的と言われているので、今後も利用者の実績を伸ばし、効果についても評価しながら、積極的に取り組んでいただきたいと思います。</p>							

※1 <<評価指標の達成度>> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
(a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	01 健やかでいきいきと暮らせるあたたかさあふれるまちづくり (市民福祉の向上)	政策	01 社会福祉の充実				
施策	04 障がい者(児)福祉の充実	部局	福祉保健 子どもすこやか				
評価指標							
指標名	総合 計画	総合 戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度	目標値 (目標年度)
就労支援サービス利用者数	○	○	2,375人	2,400人	2,607人	a 5.0点	2,600人
就労支援サービス利用から一般就労への移行 者数	○	○	77人	90人	78人	d 2.0点	100人
共同生活援助(グループホーム)の利用者数	○	○	710人	700人	783人	a 5.0点	600人
手話通訳者を配置(巡回を含む)している市 有施設数	○		4箇所	4箇所	4箇所	b 4.0点	9箇所
大分市障がい者相談支援センター相談者数	○	○	28,395人	25,000人	29,167人	a 5.0点	21,800人
内部評価(2次評価)							
分析・評価							評価
<p>【分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年々、障がい者数自体が増加しているが、「就労支援サービス利用から一般就労への移行者数」が昨年度とほぼ同数であった要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響により、一般企業の受け入れが想定よりも伸びなかったことなどが考えられる。 ・近年増加傾向にある園児の発達障がいなどの早期発見、早期対応に向けた巡回相談を充実することにより、一人ひとりの発達にあったきめ細やかな支援につなげ、保育の質の向上が図られている。 <p>【評価】</p> <p>就労支援サービス利用者数、共同生活援助(グループホーム)の利用者数、大分市障がい者相談支援センター相談者数については、目標値を大幅に上回るなど、施策の評価指標5項目の内3項目が目標値を達成しており、主な取組項目毎の主要事業についても、計画どおりの達成状況であることから、A評価とする。</p>							<p style="font-size: 2em;">A</p> <p>順調に施策を展開している</p>
今後の施策展開							
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き、障がいのある人が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう障がい者福祉施設整備事業等を活用しながら、共同生活援助(グループホーム)や就労支援サービス等が提供できる体制の確保に努める必要がある。また、「就労支援サービス利用から一般就労への移行者数」については、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したため、今後は昨年度よりも受け入れ企業が増加する可能性もあり、より一層関係機関との連携等を図っていく必要がある。 ・令和5年度新規事業として、喀痰吸引等が必要な医療的ケア児を持つ保護者の身体的・精神的負担を軽減するため、通学や通所の移動支援を行う。 							
【参考】 ・(緑)実施計画継続事業・重点事業 ・(黒)主な事業							
<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がい児巡回専門員派遣事業 ・障がい者等衣服相談アドバイザー事業 ・障がい児通所支援事業 ・大分市障害者自立支援協議会 ・障がい者福祉施設整備事業 ・大分市ノーマライゼーション推進事業 ・医療的ケア児に対する移動支援事業 							
委員意見							

※1 <評価指標の達成度> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
(a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	01 健やかでいきいきと暮らせるあたたかさあふれるまちづくり (市民福祉の向上)			政策	01 社会福祉の充実		
施策	05 社会保障制度の充実		部局	市民 福祉保健			
評価指標							
指標名	総合計画	総合戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度	目標値 (目標年度)
国民健康保険加入者の特定健康診査受診率	○		31.5%	55.0%	33.4%	d 2.0点	60.0%
国民健康保険加入者の後発医薬品（ジェネリック医薬品）使用率	○		78.9%	80.0%	80.0%	b 4.0点	80.0%
生活保護受給者就労支援事業により3ヵ月以上の就労自立期間のあった人の数	○		109人	100人	124人 累積440人 (R2~R4)	b 4.0点	500人 (R2~R6)
内部評価 (2次評価)							
分析・評価							評価
<p>【分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険は平成30年度より都道府県単位（広域化）となり、現在は大分県が運営の中心的な役割を担っている。大分市としては医療費の適正化に向けて、生活習慣病の発症・重症化及び合併症の予防のため特定健診の受診率向上や、後発医薬品使用の普及に取り組んでいるが、特定健診の受診率は伸び悩んでいる状況である。 生活保護受給者への就労支援事業については、平成26年度実績85人をもとに、平成28年度～平成31年度の就労人員の目標値を累積400人（100人/年）、平成28年度～平成31年度の目標値を500人（125人/年）と計画を上方修正。平成28～29年度は実績人数が計画を上回る成果をあげていたが、平成30年度～令和元年度は計画を下回る実績であった。要因としては、少子高齢化に伴うその他世帯、母子世帯の減少があげられ、この影響は今後も続いていくことが予想される。 <p>【評価】</p> <p>国民健康保険加入者の特定健康診査受診率は計画値を下回っているもの、国民健康保険加入者の後発医薬品（ジェネリック医薬品）使用率は概ね計画どおり推移していること、また、生活保護受給者就労支援事業により3ヵ月以上の就労自立期間のあった人の数は計画以上で推移していることから、B評価とする。</p>							B 概ね順調に 施策を展開 している
今後の施策展開							
<ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する事務事業の大半が法令で義務付けされた事業及び法定受託事務のため、制度改正の動向に注視すると共に、平成30年度の国保広域化に伴い県が財政運営の責任主体となったことから、県と連携を図るなかで必要に応じて国・県に対して要望を行う。 併せて、将来にわたり国民健康保険事業を安定かつ持続可能な医療保険制度としていくために第5期大分市国民健康保険事業財政健全化計画を策定しており、本計画内で項目別に設定した数値目標に向けて、今後も収納率向上や医療費の適正化等事業の進捗に努める。 生活保護事業については、法定受託事務の事業であるため、適正実施に努めることとする。 生活困窮者自立支援事業についても生活保護事業と同様の展開ではあるが、加えて、新型コロナウイルスの影響による新たな展開も予想されるため、今後も国の動向を注視し自立に向けた支援を推進するとともに、適正実施に努めることとする。 							
<p>【参考】 ・(緑)実施計画継続事業・重点事業 ・(黒)主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保険給付費 ・ 特定健康診査等事業費 ・ 保健事業活動費（訪問指導事業） ・ 保健事業活動費（後発医薬品促進） ・ 生活困窮者自立支援事業 							
委員意見							
<p>【張委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人に対して国民健康保険の普及化、手続きプロセスの窓口一括化、簡潔化等の取組を進めてもらいたい。 							

※1 <<評価指標の達成度>> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
(a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	01 健やかでいきいきと暮らせるあたたかさあふれるまちづくり (市民福祉の向上)	政策	02 健康の増進と医療体制の充実				
施策	06 健康づくりの推進	部局	福祉保健				
評価指標							
指標名	総合 計画	総合 戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度	目標値 (目標年度)
食生活改善推進員養成講座修了者数(累積)	○	○	585人	610人	591人	c 3.0点	675人
大分市健康推進員配置自治区数	○	○	646自治区	685自治区	649自治区	c 3.0点	全自治区
MRワクチン(麻しん・風しん混合)ワクチンの1期(生後12~24月)の各接種率	○		92.8%	95.0%	93.3%	c 3.0点	95.0%
MRワクチン(麻しん・風しん混合)ワクチンの2期(小学校就学前1年間)の各接種率	○		94.1%	95.0%	91.4%	c 3.0点	95.0%
内部評価 (2次評価)							
分析・評価							評価
<p>【分析】 各種健診を受診しやすいよう環境の整備に取り組んでおり、受診者数も持ち直してきていることから、市民が自身の健康状態を把握し、病気の早期発見・早期治療を行うことに寄与できている。</p> <p>【評価】 食生活改善推進員養成講座修了者数(累積)、大分市健康推進員配置自治区数、MRワクチン(麻しん・風しん混合)ワクチンの1期(生後12~24月)の各接種率は昨年度より増加するなど、施策の評価指標4項目すべてが概ね計画どおり展開していることから、B評価とする。</p>							<p style="font-size: 24pt; margin: 0;">B</p> <p style="margin: 0;">概ね順調に 施策を展開 している</p>
今後の施策展開							
<p>・市民が主体的に行う健康づくりの取組を社会全体として支援する環境の整備が必要であることから、今後も引き続き、健康推進員や食生活改善推進員等の健康増進に係る人材育成及び資質の向上を図るとともに、関係団体等との連携に努める必要がある。</p> <p>・市民の健康づくりに関する意識の向上及び健康づくりを支援する環境づくりを促進し、生活習慣病やその他の疾病の予防に取り組むとともに、新型コロナウイルスの影響により実績が下がっている事業を今後推進していく必要がある。</p>							
<p>【参考】 ・ (緑)実施計画継続事業・重点事業 ・ (黒)主な事業</p>							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 老・成人健康診査事業 ・ 健康づくり推進事業 (慢性腎臓病対策推進事業) ・ 健康推進員地域活動事業 ・ 食生活栄養改善推進事業 ・ 感染症対策事業 ・ 予防接種事業 							
委員意見							

※1 《評価指標の達成度》 目標値に対する進捗状況に応じて「a」~「e」の5段階で評価
(a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	01 健やかでいきいきと暮らせるあたたかさあふれるまちづくり (市民福祉の向上)	政策	02 健康の増進と医療体制の充実					
施策	07 地域医療体制の充実	部局	福祉保健					
評価指標								
指標名	総合計画	総合戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度		目標値 (目標年度)
「かかりつけ医」のいる60歳以上の市民の割合	○	○	63.6%	68.22%	63.6% (R3実績)	c	3.0点	70.0%
内部評価 (2次評価)								
分析・評価								評価
<p>【分析】 「かかりつけ医のいる60歳以上の市民割合」については、令和4年度実績を把握できなかったため、参考値（令和4年度における「60歳以上の国民健康保険加入者の医療機関を受診した人数割合」が令和3年度70.39%、令和4年度69.90%）を踏まえ、同水準で推移していると判断した。</p> <p>【評価】 「かかりつけ医」のいる60歳以上の市民の割合については、概ね目標値に向かって順調に推移していると思われることから、B評価とする。</p>								<p style="font-size: 24pt; margin: 0;">B</p> <p style="margin: 0;">概ね順調に 施策を展開 している</p>
今後の施策展開								
<p>・「かかりつけ医のいる60歳以上の市民割合」については、今後も、かかりつけ医をもつことのメリットである病気の早期発見、早期治療による重症化予防等について、各種広報を通じて啓発を続けていく。</p>								
<p>【参考】 ・ (緑)実施計画継続事業・重点事業 ・ (黒)主な事業</p>								
<p>・ 大分市地域医療情報ネットワーク整備事業 ・ 医務・薬務事業 ・ 大分市小児夜間急患センター運営支援事業</p>								
委員意見								

※1 《評価指標の達成度》 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
(a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	01 健やかでいきいきと暮らせるあたたかさあふれるまちづくり (市民福祉の向上)			政策	03 人権尊重社会の形成			
施策	08 人権教育・啓発及び同和対策の推進		部局	福祉保健 市民				
評価指標								
指標名	総合 計画	総合 戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度		目標値 (目標年度)
人権啓発センター(ヒューレおおいた)利用者数	○		19,664人	56,000人	21,318人	e	1.0点	56,000人
人権啓発研修等への講師派遣回数(参加者数)	○		205回 (4,010人)	200回 (4,000人)	183回 (4,608人)	c	3.0点	200回 (8,000人)
内部評価(2次評価)								
分析・評価								評価
<p>【分析】 「人権啓発センター(ヒューレおおいた)利用者数」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を行いながら小・中学校への出前講座を実施するなど、前年度に比べ約1,600人増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、コロナ禍以前と比べて大幅に減少している。</p> <p>【評価】 人権啓発センター(ヒューレおおいた)利用者数は計画値を下回っているものの、前年度に比べ増加しており、人権啓発研修等への講師派遣回数(参加者数)についても、概ね計画どおり展開していることから、B評価とする。</p>								<p style="font-size: 2em; margin: 0;">B</p> <p style="margin: 0;">概ね順調に 施策を展開 している</p>
今後の施策展開								
<p>・人権教育・啓発及び同和対策の推進のために「大分市あらゆる差別の撤廃及び人権の擁護に関する条例」及び「大分市人権教育・啓発基本計画」に基づき、同和問題(部落差別)をはじめとする人権問題の解決をめざし、各種施策に取り組んできた。</p> <p>しかしながら、依然として人権問題は存在し、また、社会情勢の変化に伴いインターネットの匿名性を悪用した人権侵害が発生するなど、新たな課題も生じている。</p> <p>今後も同和問題(部落差別)をはじめとするあらゆる人権問題の解決に向けた人権教育・啓発の推進及び相談体制の充実を図る施策を引き続き行っていく。</p> <p>・パートナーシップ宣誓制度について、性的少数者の人権を尊重するとともに、市民一人ひとりが互いに人権を尊重し合い、共に生きる喜びを実感できる社会の実現をめざす。</p>								
【参考】 ・ (緑)実施計画継続事業・重点事業 ・ (黒)主な事業								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 啓発事業 ・ 旭町文化センター運営事業 ・ 人権啓発センター運営事業 ・ パートナーシップ宣誓制度導入事業 								
委員意見								

※1 《評価指標の達成度》 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
(a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	01 健やかでいきいきと暮らせるあたたかさあふれるまちづくり (市民福祉の向上)		政策	03 人権尊重社会の形成				
施策	09 男女共同参画社会の実現		部局	市民				
評価指標								
指標名	総合計画	総合戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度	目標値 (目標年度)	
固定的な性別役割分担に反対する人の割合	○	○	84.4%	86.3%	81.0%	c	3.0点	88.9%
男女共同参画社会という言葉を知っている人の割合	○	○	75.1%	100.0%	73.7%	d	2.0点	100.0%
内部評価 (2次評価)								
分析・評価								評価
<p>【分析】 評価指標の実績値については「固定的な性別役割分担に反対する人の割合」が3.4%、「男女共同参画社会という言葉を知っている人の割合」が1.4%昨年度より低下しており、男女共同参画啓発事業の中でセンターの周知拡大や啓発活動をより一層進める必要がある。</p> <p>【評価】 固定的な性別役割分担に反対する人の割合、男女共同参画社会という言葉を知っている人の割合については、それぞれ昨年度と比較し低下していることから、施策展開における改善が必要であるため、C評価とする。</p>								<p>C</p> <p>施策展開における改善が必要</p>
今後の施策展開								
<p>・「第4次おおいた男女共同参画推進プラン」の各施策に沿って、男女共同参画センター（たびねす）を核とした実効性のある取り組みを進める必要がある。具体的には、セミナー・講演会の開催や情報誌などの発行による意識啓発を進め、市の拠点施設としてのたびねす周知拡大に向けたイベントや街頭啓発などの取り組みをより一層進める必要がある。</p> <p>・大分市職員活躍推進プランに基づき、多様な視点を施策構築等に活かし、市民サービスの向上を図るため、意欲と能力のある女性職員が政策や方針の決定過程に参画することができるよう、管理職への積極的な登用を行う。</p> <p>・市職員が率先して男女共同参画の視点に立った市政の推進に努める必要があるため、職員研修やさんかく通信の発行をとおり、市職員への男女共同参画における理念の浸透を図る。</p>								
【参考】・(緑)実施計画継続事業・重点事業 ・(黒)主な事業								
<p>・男女共同参画啓発事業 ・おおいた男女共同参画推進プラン策定事業</p>								
委員意見								
<p>【小野委員】 ・男女共同参画社会の実現というよりは、多様な人材が活躍できる社会の実現ではないでしょうか。そのために必要な指標も異ってくると思います。アンケートよりも、例えば、教育の場においてセクシャルマイノリティへの理解を深める授業等をしているか、企業において女性の管理職の割合を増やすために工夫をしているか等が考えられる。</p> <p>【甲斐委員】 ・「男女共同参画社会という言葉を知っている人の割合」という指標は、指標としてわかりづらく、市民感覚に即していないように感じました。再検討の必要がある項目ではないかと思います。</p> <p>【高橋委員】 ・ご存知の通り、大分は全国的にみてもジェンダーギャップ指数が低いです。指標の達成度が想定よりも低いことを受けて、今後どのような施策を行うのか、また、その施策が達成度の向上に寄与するイメージを具体的に示していただきたいと思います。 指標の妥当性についても、「固定的な性別役割分担に反対する人の割合」というのは、ストレートに聞いた場合に、賛成する人（反対しない人）はあまり多くないと思われるので、高い数値になることが考えられます。 社会、企業におけるジェンダーギャップの実情から考えると、この施策や指標からは危機感が感じられないため、指標等の見直しを検討してはいかがでしょうか。</p> <p>【張委員】 ・評価指標として、「企業の男女幹部比率の目標」、「企業の女性枠に対しての正社員雇用比率」を検討してみてもどうか。</p>								

※1 <<評価指標の達成度>> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
(a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	01 健やかでいきいきと暮らせるあたたかさあふれるまちづくり (市民福祉の向上)			政策	04 地域コミュニティの活性化			
施策	10 地域コミュニティの活性化		部局	市民				
評価指標								
指標名	総合 計画	総合 戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度		目標値 (目標年度)
おおむね小学校区単位で取り組むまちづくり推進組織の数	○	○	22校区	24校区	22校区	c	3.0点	35校区
市民と行政が協働でまちづくりを行っている と考える市民の割合	○	○	32.2%	50.0%	34.8%	d	2.0点	50.0%
内部評価 (2次評価)								
分析・評価								評価
<p>【分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「おおむね小学校区単位で取り組むまちづくり推進組織の数」については、前年度と同数となっている。また、「市民と行政が協働でまちづくりを行っている と考える市民の割合」が前回実績値(32.2%)から2.6ポイント上昇している。 各主要事業の評価については、あなたが支える市民活動応援事業の申請団体件数や ご近所の底力再生事業の申請率が前年より増加したが、頑張る集落たすく隊事業の 申請率や地域おこし協力隊の退任隊員定住率が減少した。 <p>【評価】</p> <p>施策の評価指標については、「市民と行政が協働でまちづくりを行っている と考える市民の割合」が前回実績値(32.2%)から2.6ポイント上昇したものの、施策の総合 的な達成度合いについては、計画以下での推移となっていることから、C評価とす る。</p>								<p style="font-size: 24pt; font-weight: bold;">C</p> <p>施策展開に おける改善 が必要</p>
今後の施策展開								
<ul style="list-style-type: none"> 本施策を推進する事業の多くは、市民が主体的にまちづくりに取り組むための支援策となるもの であり、引き続きこれらの事業を推進するとともに、特にまちづくり推進組織を増やしていくこと は重要な取り組みの一つであることから、より多くの校区で導入されるよう制度の改善にも努め、 もって市民協働のまちづくりを実現していく。 自治会役員の担い手育成を図るため、自治会運営・活動における実践的な知識やノウハウを学 び、スキルアップを図る講習会を開催する。 								
【参考】・(緑)実施計画継続事業・重点事業 ・(黒)主な事業								
<ul style="list-style-type: none"> 地域づくり交付金事業・公民館類似施設整備事業 自治委員業務・自治会活性化推進事業(元気な自治会等応援事業) 地域まちづくり活性化事業・ご近所の底力再生事業 地域コミュニティ創造事業・地域おこし協力隊 公民館類似施設管理運営補助事業・頑張る集落たすく隊事業 自治会活性化推進事業(協働のまちづくり大賞)・あなたが支える市民活動応援事業 自治会運営スキルアップ講習会 								
委員意見								
<p>【甲斐委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「市民と行政が協働でまちづくりを行っている と考える市民の割合」という指標は、指標として わかりづらく、市民感覚に即していないように感じました。再検討の必要がある項目ではないかと 思います。 <p>【張委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価指標として、「街づくり推進組織が活動を行った際の市民の平均参加人数」、「産官学民連 携の数」を検討してみてもどうか。 								

※1 <<評価指標の達成度>> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
(a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移して
いる、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	01 健やかでいきいきと暮らせるあたたかさあふれるまちづくり (市民福祉の向上)	政策	05 健全な消費生活の実現				
施策	11 健全な消費生活の実現	部局	市民 商工労働観光				
評価指標							
指標名	総合 計画	総合 戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度	目標値 (目標年度)
消費者啓発講座の受講者数	○		2,476人	4,000人	2,114人	d 2.0点	4,000人
内部評価 (2次評価)							
分析・評価							評価
<p>【分析】 消費者啓発講座の受講者数は、一部講座で参加者数が減少したものの、全体的には回復しつつある。 ・大分県金融広報委員会との共催により、暮らしに役立つ金融経済情報を周知するため、「悪質商法の手口と撃退方法～新成人から高齢者まで 皆さんに聞いてほしい 消費者トラブルのはなし～」をテーマとして、「金融経済講演会 in 大分」を弁護士の紀藤正樹氏を講師に招いて開催するなど、消費生活に関わる啓発を行った。</p> <p>【評価】 施策の成果指標である「消費生活啓発講座の受講者数」は、コロナの影響もあり計画以下での推移となっており、また、昨年度の実績値 (2,476人) も下回っていることから、施策展開における改善が必要であるため、C評価とする。</p>							C 施策展開における改善が必要
今後の施策展開							
・これまで中学生から高校生の若年層に向け消費生活講座を開催していたが、今年度より新たに小学生高学年を加えることで、消費者知識の更なる向上を図るなど、引き続き消費者教育・啓発の推進を図る。							
【参考】 ・ (緑)実施計画継続事業・重点事業 ・ (黒)主な事業							
・消費生活啓発事業 ・計量関係費							
委員意見							
<p>【石井副委員長】 ・消費者啓発講座について、スマホ視聴できるよう、e-ラーニングのシステムを検討してはどうか。</p> <p>【小澤委員】 ・オンラインや、オンデマンドでの講座の提供方法もオプションとして考えられると思います。</p> <p>【甲斐委員】 ・消費生活啓発講座の受講者数だけで、壮大な施策内容の指標とするのは、大変悩ましい状況ではないかと察します。すでに警察や教育委員会、高齢者サロン等他の機関も様々に行っており、高校の授業などに定着した内容もあろうかと思うので、たとえば、「消費生活啓発講座を実施する機関数」などは指標として把握しづらいものでしょうか。</p> <p>【河部委員】 ・消費者被害の未然防止を図るため、若年層に向けた消費生活講座を実施しており、とりわけ被害の低年齢化に向けて、小学生の高学年への対応も必要と考える。 県では、成年年齢の引き下げに伴い、令和4年度から高校生を対象に、消費者教育コーディネーターによる講座も実施していることから、県と情報共有・連携して取り組む必要がある。</p>							

※1 <<評価指標の達成度>> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
 (a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	02 豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむまちづくり (教育・文化の振興)	政策	06 豊かな人間性の創造				
施策	12 生きる力をはぐくむ学校教育の充実	部局	子どもすこやか 教育				
評価指標							
指標名	総合計画	総合戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度	目標値 (目標年度)
国・県・市主催の学力調査で全国平均以上の教科の割合	○	○	小学校92.9% 中学校100%	小学校100% 中学校100%	小学校73.3% 中学校95.6%	d 2.0点	小学校 100% 中学校 100%
新体力テストにおける総合評価がC以上の児童生徒の割合	○	○	小学校81.5% 中学校85.9%	小学校87.0% 中学校90.3%	小学校79.8% 中学校85.0%	c 3.0点	小学校 88.0% 中学校 91.0%
12歳のむし歯本数 (一人当たり)	○	○	0.8本	0.9本	0.6本	a 5.0点	0.7本
内部評価 (2次評価)							
分析・評価							評価
<p>【分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価指標である「国・県・市主催の学力調査における全国平均以上の教科の割合」は、小学校が73.3% (15教科中11教科)、中学校が95.6% (23教科中22教科) となり、前年度と比較し低下しているものの、中学校1年生対象の大分市標準学力調査においては、全ての教科の基礎、活用ともに全国平均を上回っており、英語においては全国平均を3ポイント以上上回るなど、指導方法の工夫改善の成果が見られた。 「新体力テストにおける総合評価がC以上の児童生徒の割合」については、2年以上続く運動の制限や機会の減少等の影響から、小学校中学校ともに減少傾向にある。 「12歳のむし歯本数 (一人当たり)」については、歯みがき指導・食に関する指導・フッ化物洗口の3本柱による児童生徒の歯と口の健康づくりを推進してきた効果が見られる。 <p>【評価】</p> <p>施策の成果指標である「国・県・市主催の学力調査で全国平均以上の教科の割合」及び「新体力テストにおける総合評価がC以上の児童生徒の割合」については、計画値を下回ったものの、主な取組項目ごとの主要事業は、概ね計画値を達成しており、概ね順調に施策を展開していることから、B評価とする。</p>							B 概ね順調に 施策を展開 している
今後の施策展開							
<ul style="list-style-type: none"> 各種学力調査結果の分析に基づき、指導主事による学校訪問等を行い、各学校の課題の解決に向けた授業展開の工夫について指導・助言を行う。また、「大分市授業力向上ハンドブック」や授業展開のアイデア例を示した「指導資料」等を積極的に活用するとともに、従来の学習スタイルに加え、ICT機器等を効果的に活用するなど、児童生徒の理解や習熟の程度等に応じた指導の一層の充実を図る。 体育専科教員や保健体育指導支援員等を活用するなど、学校への支援体制の更なる充実を図る。また、全市統一した補強運動等に積極的に取り組むとともに、陸上運動の専門的知識をもった指導者による実技研修を引き続き実施し、特に課題である児童生徒の走力の向上を図る。 							
【参考】・(緑)実施計画継続事業・重点事業 ・(黒)主な事業							
<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育アドバイザー派遣事業・民間プール活用委託事業 ・外国語指導助手招聘事業・特別支援等教育活動サポート事業 ・大分市小中一貫教育推進事業・教科指導マイスター派遣事業 ・大分っ子学力向上推進事業・日本語指導等支援事業 ・小中学校情報教育事業・歯と口の健康づくり事業 ・大分っ子体力アップわくわく事業・運動部活動総合活性化事業 							
委員意見							

※1 <<評価指標の達成度>> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
(a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	02 豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむまちづくり (教育・文化の振興)	政策	06 豊かな人間性の創造				
施策	13 子どもたちの学びを支える教育環境の充実	部局	子どもすこやか 教育				
評価指標							
指標名	総合 計画	総合 戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度	目標値 (目標年度)
不登校児童生徒の出現率	○	○	小学校 1.6% 中学校 5.8%	小学校 0.8% 中学校 4.1%	小学校 1.8% 中学校 7.7%	e 1.0点	小学校 0.7% 中学校 3.6%
小中学校のトイレ洋式化率	○	○	55.3%	56.5%	57.8%	b 4.0点	60.0%
学校運営協議会の設置校(累積)	○	○	52校	62校	64校	b 4.0点	全校
内部評価 (2次評価)							
分析・評価							評価
<p>【分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国的に不登校児童生徒の数は増加傾向にあり、本市においても、不登校の要因は複雑化・多様化しており、解消するまでに時間を要するケースが増加している。 「小中学校のトイレ洋式化率」については、順調に推移しているところであり、引き続き計画的な整備を進める。 学校や地域の実情を踏まえながら、計画的・段階的に学校運営協議会を設置するなど、地域と連携した取組を推進している。 <p>【評価】</p> <p>評価指標である「不登校児童生徒の出現率」については、スクールソーシャルワーカーやスクールライフサポーター等の活用に努めるなど、引き続き、社会的自立に向けた支援を充実させる必要がある。一方で、「小中学校のトイレ洋式化率」、「学校運営協議会の設置校(累積)」については、計画値以上で推移していることから、B評価とする。</p>							<p style="font-size: 2em; margin: 0;">B</p> <p style="margin: 0;">概ね順調に 施策を展開 している</p>
今後の施策展開							
<ul style="list-style-type: none"> 「教育施設整備保全計画」に基づく計画的な小中学校等の長寿命化改修の実施、教職員の指導力の向上、スクールソーシャルワーカーやスクールライフサポーター等の活用による個に応じた支援体制の充実など、子どもたちの学びを支える教育環境の充実を着実に進める。 大分で活躍する人材の育成・確保を目的に、新たな奨学資金制度の導入に向けた調査・検討を行う。 児童生徒及び教職員に望ましい学習・生活環境及び就労環境を提供することを目的に、特別教室等及び体育館に空調設備を整備する。 学校における働き方改革を推進するため、学校施設使用許可事務の一部を委託する。 学習費等に係る負担が大きくなる中学生がいる世帯の経済的負担を軽減するため、3学期の学校給食提供分から中学生の学校給食費を無償化する。 							
【参考】 ・(緑)実施計画継続事業・重点事業 ・(黒)主な事業							
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校施設長寿命化改修事業 ・奨学助成事業(未来自分創造資金) ・スクールサポートスタッフ配置事業 ・いじめ・不登校等未然防止対策事業 ・スクールソーシャルワーカー活用事業 ・就学援助事業 ・生徒指導関連事業(スクールライフサポーター活用事業) ・賀来小中学校施設整備事業 ・大在東小学校施設整備事業 							
委員意見							
<p>【得丸委員】</p> <p>本施策は、重要であり、「今後の施策展開」の項目はすべて賛同いたします。一方で、中学校学校給食の無償化は、年度途中である今年度の3学期から実施すると記されていますが、限られた財源の中で、給食費無償化への経費捻出のために他の施策に係る財源に影響がないようにしていただきたい。</p>							

※1 <<評価指標の達成度>> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
(a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	02 豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむまちづくり (教育・文化の振興)	政策	06 豊かな人間性の創造				
施策	14 社会教育の推進と生涯学習の振興	部局	企画 市民 教育				
評価指標							
指標名	総合 計画	総合 戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度	目標値 (目標年度)
大分市民図書館等の利用者数	○	○	642,242人	998,000人	687,836人	d 2.0点	1,000,000人
おおいたふれあい学びの広場推進事業（地域主体型）の実施回数	○	○	238回	776回	456回	d 2.0点	800回
地区公民館及び地区人権教育（尊重）推進協議会の地区懇談会等への参加者数	○		4,067人	10,600人	6,296人	d 2.0点	11,000人
内部評価（2次評価）							
分析・評価							評価
<p>【分析】 ・「大分市民図書館等の利用者数」「おおいたふれあい学びの広場推進事業（地域主体型）の実施回数」及び「地区公民館及び地区人権教育（尊重）推進協議会の地区懇談会統への参加者数」については、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、年間目標を下回った。新型コロナウイルス感染症の類型が変更される中、これまでの取組を評価・検証し、効率的かつ効果的な取組を進めていく必要がある。</p> <p>【評価】 評価指標である「大分市民図書館等の利用者数」をはじめ、その他の指標も新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、計画値を下回っているものの、全ての指標において前年度の実績値を上回っていることから、概ね順調に施策を展開できていると判断できるため、B評価とする。</p>							B 概ね順調に 施策を展開 している
今後の施策展開							
・公民館事業（教室・講座、貸し館）については、社会教育課から専門的・技術的指導を受けながら、市民のニーズに基づいた見直しを行うことで質の高いサービスの提供をめざす。また、地区公民館は建設から相当期間が経過していることから、施設の長寿命化を図るとともに、トイレの洋式化など施設の利便性の向上にも努める。 ・大分市教育施設整備保全計画に基づき、令和5年度から新たに植田公民館施設整備事業に着手し、施設の長寿命化及び利便性向上を図る。							
【参考】 ・ (緑)実施計画継続事業・重点事業 ・ (黒)主な事業							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区公民館管理運営事業 ・ 地区公民館施設整備事業 ・ 海星館施設整備事業 ・ おおいた人権フェスティバル ・ 人権・同和教育啓発事業 ・ おおいたふれあい学びの広場推進事業 ・ 市民図書館本館運営事業 ・ おおいたナイトスクール事業 							
委員意見							

14 ※1 <評価指標の達成度> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
 (a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	02 豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむまちづくり (教育・文化の振興)			政策	07 個性豊かな文化・芸術の創造と発信			
施策	15 個性豊かな文化・芸術の創造と発信		部局	企画 教育				
評価指標								
指標名	総合計画	総合戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度		目標値 (目標年度)
文化ホールの利用者数	○	○	130,453人	366,500人	230,686人	d	2.0点	417,000人
大分市美術館の利用者数	○	○	237,409人 (R2~3年度平均値)	460,243人	223,207人 (R2~4年度平均値)	e	1.0点	500,000人
アートプラザの利用者数	○	○	67,617人 (R2~3年度平均値)	176,835人	80,285人 (R2~4年度平均値)	e	1.0点	180,000人
歴史資料館利用者数	○	○	28,853人	46,115人	26,351人	d	2.0点	47,500人
内部評価 (2次評価)								
分析・評価								評価
<p>・ おおいた夢色音楽祭総来場者数が計画値53,000人を上回る59,000人など、幅広い世代が様々な分野の音楽を鑑賞できる機会や気軽に創作活動に参加し、発表できる機会を提供しているが、文化ホールの利用者数については、依然新型コロナウイルスの影響もあり、計画値に対して、約63%となっている。</p> <p>・ 大分市美術館の利用者数は、前年度を下回る223,207人、歴史資料館の利用者数も前年度を下回る26,351人となっているが、アートプラザの利用者数は、前年度を上回る80,285人となった。</p> <p>・ 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響があったものの、庭園や南蛮BVNGO交流館におけるイベントをはじめ、大友氏遺跡の積極的な情報発信を行った結果、計画値を上回るものもあった。</p> <p>【評価】 評価指標である「文化ホールの利用者数」をはじめ、その他の指標も新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、計画値を下回っているものの、前年度の実績値を上回っている指標もあることから、概ね順調に施策を展開できていると判断できるため、B評価とする。</p>								B 概ね順調に施策を展開している
今後の施策展開								
<p>・ アートを活かしたまちづくり推進戦略に基づき「地域の魅力づくり」、「市民の地域を誇る気持ちの醸成」、「創造的な人材の育成」、「地域経済の活性化」を目指すとともに、大阪・関西万博が開催される令和7年度に実施予定のフェスティバルに向けて、パブリックアート作品の制作の継続に加えて、その他関係課等と連携を図りながら、様々な媒体を用いて積極的に普及啓発を行っていく。</p> <p>・ 大友氏遺跡整備基本計画に基づき、大友氏館跡整備を着実に進めるとともに、南蛮BVNGO交流館やボランティアガイドの活用など、大友氏遺跡に関する情報発信を効果的に行う。また、美術館を積極的にPRするとともに、大分のアートを全国に力強く発信する。</p> <p>・ デジタルアーカイブの開設・運用や、地域伝統文化の継承を支援することで、本市の貴重な文化遺産への興味・関心を高め、地域活性化や観光への活用の促進を図る。</p>								
【参考】・(緑)実施計画継続事業・重点事業 ・(黒)主な事業								
<p>・ アートレジオン推進事業・おおいた夢色音楽祭実行委員会助成金 ・ 文化・芸術活動推進補助事業・のつはる音の森フェスティバル ・ コンパルホール管理事業(総務費)・アートを活かしたまちづくり事業 ・ 城原・里遺跡公有化事業・DXによる地域文化資源の継承及び活用推進事業 ・ 新たな知の拠点整備事業(アートプラザ)・大友氏遺跡保存整備事業 ・ 県指定史跡「小牧山古墳群」基盤整備事業</p>								
委員意見								

※1 <評価指標の達成度> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
 (a)5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	02 豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむまちづくり (教育・文化の振興)	政策	08 スポーツの振興					
施策	16 スポーツの振興	部局	企画					
評価指標								
指標名	総合計画	総合戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度		目標値 (目標年度)
週1回以上のスポーツ実施率	○	○	31.0%	42.9%	30.9%	d	2.0点	50.0%
全国大会（小中学生においては九州大会）以上に出場した団体数	○	○	161団体	196団体	268団体	a	5.0点	200団体
スポーツ指導者研修会の参加者数	○		637人	1,010人	633人	d	2.0点	1,200人
内部評価（2次評価）								
分析・評価								評価
<p>【分析】 新型コロナウイルスの影響により、各種イベント等の参加者・入場者数が伸びず、計画値を割り込むこととなったが、予約システムによる年間予約件数は増加しており、感染対策を行いながら、少しずつ通常の活動実施を行う機運が高まっていると思われる。</p> <p>【評価】 評価指標の週1回以上のスポーツ実施率、スポーツ指導者研修会の参加者数は計画値を下回っている状況にあるものの、全国大会以上に出場している団体数、県民スポーツ大会の成績、予約システムの予約件数の増加は高い水準にあることから、概ね順調に施策を展開していると判断できるため、B評価とする。</p>								<p style="font-size: 2em; margin: 0;">B</p> <p style="margin: 0;">概ね順調に 施策を展開 している</p>
今後の施策展開								
<p>・各種イベント等について、これまで新型コロナウイルスの影響により、自粛の動きや人数の制約があった。 今後については、新型コロナウイルスが5類感染症に移行されたことで、市民の意識に変化が生じられると思われることから、より一層集客に努めていくことで、スポーツによる持続的な街づくりや地域活性化を図っていくこととする。</p> <p>・スポーツ振興における新たな魅力の創出として、身近で楽しめるアーバンスポーツを推進するためのイベントを開催する。</p>								
<p>【参考】 ・(緑)実施計画継続事業・重点事業 ・(黒)主な事業</p>								
<ul style="list-style-type: none"> ・社会体育振興事業（スポーツフェスタ開催事業） ・スポーツ推進委員事業 ・総合型地域スポーツクラブ支援事業 ・公共施設案内・予約システム管理運営事業 ・県民スポーツ大会事業 ・ホームタウン推進事業 ・スポーツコミッション推進事業 ・アーバンフェスタ開催事業 								
委員意見								

※1 《評価指標の達成度》 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価

(a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	02 豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむまちづくり (教育・文化の振興)	政策	09 国際化の推進				
施策	17 国際化の推進	部局	企画				
評価指標							
指標名	総合計画	総合戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度	目標値 (目標年度)
外国人と直接触れ合える事業に参加した子どもの数	○	○	39,573人	43,000人	39,518人	c 3.0点	43,000人
国際化、多文化共生イベントへの参加者数	○	○	9,000人	38,000人	36,005人	c 3.0点	38,000人
内部評価 (2次評価)							
分析・評価							評価
<p>【分析】 新型コロナウイルス感染症による行動制限やイベント規制が緩和され、「外国人と直接触れ合える事業に参加した子どもの数」、「国際化、多文化共生イベントへの参加者数」とも計画値の9割を超えている。</p> <p>【評価】 各指標について、概ね計画どおり推移しており、概ね順調に施策を展開していることから、B評価とする。</p>							<p style="font-size: 24pt; margin: 0;">B</p> <p style="margin: 0;">概ね順調に 施策を展開 している</p>
今後の施策展開							
<p>・新型コロナウイルス感染症に対する水際対策が緩和されたことに伴い、徐々に海外渡航が再開されていることから、今後外国人市民の増加や姉妹都市等との交流の機会が増えると予想されるため、外国人市民や姉妹都市関係者等の受け入れ準備や姉妹都市への派遣準備を行っていく。なお、実施予定のイベント等の事業は、引き続き円滑に実施していく。</p>							
【参考】 ・ (緑)実施計画継続事業・重点事業 ・ (黒)主な事業							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 留学生生活用事業 ・ 青少年国際理解推進事業 ・ おおいた国際協力啓発月間事業 ・ 国際理解推進講座実施事業 							
委員意見							

※1 <評価指標の達成度> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
(a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	03 安全・安心を身近に実感できるまちづくり (防災安全の確保)			政策	10 防災力の向上			
施策	18 防災・危機管理体制の確立			部局	総務	福祉保健	土木建築	都市計画
評価指標								
指標名	総合計画	総合戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度		目標値 (目標年度)
防災訓練を実施した自主防災組織数	○	○	236組織	490組織	316組織	d	2.0点	603組織
自主防災組織における風水害避難行動計画の策定率	○	○	88.9%	90.0%	94.0%	b	4.0点	100.0%
特定建築物の耐震化率	○	○	92.5%	95.0%	92.8%	d	2.0点	95.0%
内部評価 (2次評価)								
分析・評価								評価
<p>【分析】 防災訓練については新型コロナの影響もあり、計画値を達成することはできなかったが、「風水害避難行動計画の策定率」については、R6年度までに100%達成を目指すこととしており、R4年度の計画値を達成することができた。また、シェイクアウト訓練については計画値を上回る実績を上げており、コロナ禍においても順調に実施することができた。</p> <p>【評価】 「自主防災組織における風水害避難行動計画の策定率」については、R4年度の計画値を達成しているもの、「防災訓練を実施した自主防災組織数」及び「特定建築物の耐震化率」については、計画値を達成できていないことから、C評価とする。</p>								C 施策展開における改善が必要
今後の施策展開								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災知識の普及啓発が実施できるよう、令和5年度は防災士のフォローアップ研修を通常通りホルトホールにて開催し、最新の防災情報や市の取組に加え、防災訓練について周知する。 ・ 「風水害避難行動計画の策定率」については、地域により温度差があるため、今後も未策定の自主防災組織に対して積極的に働きかけをしていく。 ・ 特定建築物の耐震化については、補助制度（一部対象物件）の周知を行うことで耐震改修を促し災害リスクへの軽減を図る。 ・ 荷揚町小学校跡地に建設している複合公共施設の5階に、避難情報発令判断機能等を搭載したシステムを備えた常設の災害対策本部室を整備する。 ・ 激甚化する自然災害に対し、倒木による道路通行支障及び長期間停電の未然防止のため、九州電力送配電株と共同で森林整備を行う。 								
【参考】 ・ (緑)実施計画継続事業・重点事業 ・ (黒)主な事業								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災士養成事業 ・ 防災士協議会活動事業費補助金 ・ 大分市防災キャンペーン事業 ・ 防災知識普及啓発事業 ・ 避難行動要支援者対策事業 ・ 特定建築物耐震化促進事業 ・ 常設災害対策本部整備事業 ・ 災害予防対策伐採事業 								
委員意見								
<p>【甲斐委員】 ・ 防災訓練を実施した自主防災組織数が挙がっています。コロナ禍の中、実施されていて意識を持っておられてすばらしいと思いました。すでに行われているかもしれませんが、南海トラフ地震を想定した防災訓練は必要なことだと思います。ハザードマップで浸水する地域などは特に声掛けをしてそういった地域の防災訓練を計画的に行い、〇〇箇所分の〇〇箇所が実施したなどその状況を施策の指標とすることも一つではないかと思います。</p> <p>【張委員】 ・ 評価指標として、「市民が家庭内で装備している防災救命バックの割合」、「防災集合場の認知度」、「市民団体による受援体制の訓練率」を検討してみてもどうか。</p>								

※1 <評価指標の達成度> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価 (a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	03 安全・安心を身近に実感できるまちづくり (防災安全の確保)	政策	10 防災力の向上				
施策	19 治山・治水対策の充実	部局	土木建築				
評価指標							
指標名	総合 計画	総合 戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度	目標値 (目標年度)
雨水排水ポンプ場の整備	○	○	設置6 着手2	設置7 着手2	設置7 着手2	a 5.0点	設置7 着手2
河川施設の整備 (整備延長4,734m)	○	○	91.53%	95.77%	95.45%	c 3.0点	96.8%
内部評価 (2次評価)							
分析・評価							評価
<p>【分析】 佐賀関馬場地区浸水対策事業等の河川整備事業では、県の臨港道路計画、市道中通線改良計画との調整を図りながら、概ね計画どおり進めることができている。 ・各種ハザードマップの作成事業については、県による危険区域の指定を受けた後、計画通りに作成を行い、住民に周知を図っている。</p> <p>【評価】 評価指標の雨水排水ポンプ場の整備は、計画値どおりであり、河川施設の整備においても、概ね計画どおりに推移しており、順調に施策を展開していることから、A評価とする。</p>							A 順調に施策 を展開して いる
今後の施策展開							
<p>・河川の改良や維持管理は、市民の要望に基づき対応しているが、毎年計画以上の要望があり、すべてに応えられていない状況にあるため、「緊急自然災害防止対策事業債」を積極的に活用することで、可能な限り要望に応える。 ・既成宅地防災工事等助成事業については、近年の大雨等による土砂災害の状況から、市民から多くの相談が寄せられており、今後、申請件数の増加が見込まれるため、助成事業により、危険ながけ地の崩壊による被害の防止に努める。</p>							
【参考】・(緑)実施計画継続事業・重点事業 ・(黒)主な事業							
<p>・佐賀関馬場地区浸水対策事業 ・既成宅地防災工事等助成事業</p>							
委員意見							

※1 <<評価指標の達成度>> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
 (a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	03 安全・安心を身近に実感できるまちづくり (防災安全の確保)	政策	11 安全・安心な暮らしの確保					
施策	20 消防・救急体制の充実	部局	消防局					
評価指標								
指標名	総合 計画	総合 戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度		目標値 (目標年度)
住宅火災の出火率	○		1.5	1.275	1.6	d	2.0点	1.275以下
消防団員数	○	○	2,137人	2,175人	2,074人	c	3.0点	2,175人
救急隊が到着するまでに、市民が心肺蘇生を実施した割合 (応急手当実施率)	○	○	63.4%	64.0%	68.2%	a	5.0点	64.0%
内部評価 (2次評価)								
分析・評価								評価
<p>【分析】 新型コロナウイルス感染症の影響として、人流抑止や行動制限もあり、事業が制約される中での推進となり、応急手当実施率は目標値を達成したものの、その他の指標は計画値を下回っている。</p> <p>【評価】 住宅火災の出火率についてはR4年度の計画値を下回っているものの、救急隊が到着するまでに、市民が心肺蘇生を実施した割合は計画値を上回っており、消防団員数においても、概ね計画どおり推移しており、概ね順調に施策を展開していることから、B評価とする。</p>								<p style="font-size: 2em; margin: 0;">B</p> <p>概ね順調に 施策を展開 している</p>
今後の施策展開								
<p>・全国的な消防団員数の状況は減少傾向にあり、特に若い世代の担い手不足が深刻化しており、本市においても同様に課題である。今後も引き続き消防団員確保のための積極的な広報活動に取り組み、消防団員の確保に努める。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の分類が第5類に移行され、市民生活も変容していくことから、より一層、社会情勢を確実に捉え、消防団ビジョン、消防局基本計画を基礎とした取組を推進していく。</p>								
【参考】 ・ (緑)実施計画継続事業・重点事業 ・ (黒)主な事業								
<p>・住宅防火推進事業 ・大分市消防団活性化事業 ・応急手当普及啓発事業</p>								
委員意見								

※1 <<評価指標の達成度>> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
(a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	03 安全・安心を身近に実感できるまちづくり (防災安全の確保)	政策	11 安全・安心な暮らしの確保				
施策	21 交通安全対策の推進	部局	市民 土木建築				
評価指標							
指標名	総合 計画	総合 戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度	目標値 (目標年度)
年間交通事故死傷者数	○		1,475人	2,000人	1,501人	a 5.0点	2,000人
年間交通事故死者数	○		14人	10人	8人	a 5.0点	10人以下
内部評価 (2次評価)							
分析・評価							評価
<p>【分析】 施策の評価指標については、関係機関との連携により年間交通事故死傷者数及び死者数は目標を達成できた。また、主要事業である交通安全フェア及び交通安全教室については、計画以上の推移となっている。ハード面に関しては、人と車の調和のとれた安全で円滑かつ快適な交通社会の実現を目指し、歩行者の安全確保を図るため、歩道改良や段差解消、電線地中化等によりバリアフリー化に配慮した整備を概ね計画通りに進めることができた。</p> <p>【評価】 年間交通事故死者数は、前年度の14人から8人に減少するなど、全ての施策の評価指標において、目標値を達成しており、主要事業の計画値も概ね上回っている。順調に施策を展開していることから、A評価とする。</p>							A 順調に施策を展開している
今後の施策展開							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通事故ゼロに向けた取組を各関係機関と連携して行うとともに、ハード面に関しては今後も計画的な道路整備及び電線類等の無電柱化等を行っていくことで、安全で円滑かつ快適な交通社会の実現を目指す。 ・ 今後も引き続き、運転免許を自主返納した70歳以上の方に対し、申請によりタクシーチケット1万円分を交付する高齢者運転免許自主返納促進事業を通じて、高齢者が加害者となる交通事故防止と公共交通機関の利用促進を図る。 							
【参考】 ・ (緑)実施計画継続事業・重点事業 ・ (黒)主な事業							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通指導員業務 ・ 大分市高齢者運転免許自主返納促進事業 ・ 交通安全母の会補助金 ・ 交通安全活動事業 ・ 交通事故相談業務 ・ 交通遺児奨学手当 							
委員意見							

※1 《評価指標の達成度》 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
 (a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	03 安全・安心を身近に実感できるまちづくり (防災安全の確保)	政策	11 安全・安心な暮らしの確保				
施策	22 防犯体制の強化	部局	市民				
評価指標							
指標名	総合計画	総合戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度	目標値 (目標年度)
刑法犯認知件数	○		1,318件	1,400件	1,249件	a 5.0点	1,400件
内部評価 (2次評価)							
分析・評価							評価
<p>【分析】 高齢者を対象に特殊詐欺等による被害防止を図る特殊詐欺等被害防止対策事業をはじめ、関係機関と連携して防犯意識の高揚及び啓発に努めている。また、防犯灯及び防犯カメラの設置補助事業により、犯罪を誘発する恐れのある場所を解消するため防犯環境の整備にも取り組んでいる。さらに犯罪被害者等経済的負担の軽減を図るため、関係機関と連携して犯罪被害者等への支援を行っている。</p> <p>【評価】 評価指標について、刑法犯認知件数は前年度 (1,318件) に対し、R4年度の実績値は1,249件と件数が減少している。また、主要事業についても特殊詐欺被害対策防止対策事業の申請件数の実績値が389件と計画値の300件を大きく上回っており、施策及び主要事業とも十分に達成している状況にあり、順調に施策を展開していることから、A評価とする。</p>							A 順調に施策を展開している
今後の施策展開							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も、高齢者世帯を対象とした特殊詐欺被害防止対策事業を中心に、防犯意識の高揚を図るとともに、防犯灯、防犯カメラ設置事業等の防犯環境の整備の継続、犯罪被害者等の支援を総合的に推進していく。 ・ 高齢者を中心とした特殊詐欺等の被害防止を図るため、防犯設備補助事業により、特殊詐欺等防止機能付き電話機の購入に係る費用の一部を補助する。 							
【参考】 ・ (緑)実施計画継続事業・重点事業 ・ (黒)主な事業							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政対象暴力等事務 ・ 特殊詐欺等被害防止対策事業 ・ 防犯協会補助金 ・ 被害者支援センター負担金 ・ 犯罪被害者等支援事業 ・ 防犯設備補助事業 							
委員意見							

※1 <<評価指標の達成度>> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
 a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	04 にぎわいと活力あふれる豊かなまちづくり (産業の振興)				政策	12 特性を生かした生産業の 展開		
施策	23 工業の振興			部局	商工労働観光			
評価指標								
指標名	総合 計画	総合 戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度		目標値 (目標年度)
誘致企業件数	○	○	18件	12件	20件 累積57件 (R2~R4)	b	4.0点	60件 (R2~R6累計)
市内創業支援機関等の支援による創業件数	○	○	149件	200件	198件	c	3.0点	200件
市が開催・支援する人材育成に係る講座及び研修の延べ受講者数(年間)	○	○	1,397人	2,000人	1,016人	d	2.0点	2,000人
海外への経済交流支援企業数	○	○	88件	40件	87件 累積271件 (R2~R4)	a	5.0点	200件 (R2~R6累計)
内部評価(2次評価)								
分析・評価								評価
<p>【分析】 ・コロナ禍で自粛していた設備投資などが再開してきたこともあり、製造業を中心として誘致企業件数は計画以上の達成状況となっており、市内創業支援機関等による創業件数も概ね目標値を達成している。 ・海外展開支援件数については令和2年度からの累積件数が目標値を達成し、概ね順調に施策を展開している。 ・市が開催・支援する人材育成に係る講座及び研修の延べ受講者数(年間)については、新型コロナウイルス感染症の影響から、令和元年度以前に比べ減少している。</p> <p>【評価】 新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた事業は計画値を下回っているものの、全体として、工業の振興に資する施策が一定の成果・効果があったと評価できる。概ね順調に施策を展開していることから、B評価とする。</p>								B 概ね順調に 施策を展開 している
今後の施策展開								
<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業を取り巻いている状況を鑑み、令和5年度からより利用しやすい形へ見直しを行った補助金制度を継続し、引き続き創業者や中小企業の人材育成を支援していく。 ・海外販路拡大支援事業については、シンガポールをターゲットとして、マーケットインに焦点を当てた事業を行うための準備段階として、ジェトロ大分と共同で現地の最新ニーズ調査や、レストラン・小売店関係者等との人脈及び人的ネットワークの構築を図る。 ・企業誘致については、コロナ禍の影響が少なくなり対面の訪問も可能となってきたため、大分県や市東京事務所と連携したプロモーションを行い、企業立地を推進していく。 ・「チャレンジ創業!大分市創業者応援事業」により、若年層を対象に「学生対象起業セミナー」や「学生版ビジネスプランコンテスト」等を実施し、学生等の起業マインドの醸成やシーズの発掘・育成を図る。 ・若手起業家育成事業として、学生等若年層の起業マインドの醸成及びシーズの発掘と育成を図るため、起業の準備や相談ができる支援拠点を開設(プレオープン)する。 								
【参考】 ・(緑)実施計画継続事業・重点事業 ・(黒)主な事業								
<ul style="list-style-type: none"> ・企業立地推進事業 ・産業用地整備事業 ・中小企業販路拡大応援事業 ・「チャレンジ創業!」大分市創業者応援事業(大分市創業者応援事業補助金) ・若手起業家育成事業 ・中小製造業設備投資補助事業 ・中小企業経営力強化推進事業 ・ふるさと大分市応援寄附金推進事業 								
委員意見								

※1 <<評価指標の達成度>> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」~「e」の5段階で評価
 (a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	04 にぎわいと活力あふれる豊かなまちづくり (産業の振興)				政策	12 特性を生かした生産業の 展開			
施策	24 農業の振興			部局	農林水産 農業委員会				
評価指標									
指標名	総合 計画	総合 戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度		目標値 (目標年度)	
認定新規就農者数(累積)	○	○	19人	35人	24人	d	2.0点	50人	
直売所・直売コーナーの販売額	○		30.9億円	31.0億円	31.2億円	a	5.0点	30.5億円	
主要品目の産出額	○	○	46億2,000万円	51億88万円	48億2,600万円	c	3.0点	53億7,700万円	
共同活動に取り組む集落数	○	○	50	59	50	d	2.0点	68	
内部評価 (2次評価)									
分析・評価								評価	
<p>【分析】 施策の評価指標については、主要品目の産出額が計画値に達しておらず、引き続き、新型コロナウイルスの影響がみられる。そのような状況において、直売所・直売コーナーの販売額が順調に伸びている。外食の機会が減り、内食需要が増えたことが要因の一つと考えられる。</p> <p>【評価】 施策の評価指標については4つの指標のうち、「直売所・直売コーナーの販売額」以外は、計画値を下回っているものの、主な取組項目毎の主要事業については、半数以上の事業で目標を達成しており、目標を達成していない事業においても達成率は8割を超えている。概ね順調に施策を展開していることから、B評価とする。</p>								<p style="font-size: 24pt; font-weight: bold;">B</p> <p>概ね順調に 施策を展開 している</p>	
今後の施策展開									
<p>・ 農業を地域の基幹産業として持続的な発展ができるよう、農業者の下で就農に必要な栽培技術が習得できるファーマーズカレッジ事業、親元に就農する後継者に対する支援、おおいた農業塾の開催などに取り組むとともに、ニラ、オオバなどの農業用施設や機械、先端技術の導入を支援することで、産地の拡大及び効率的な生産体制の整備を図り、産業としての競争力を高める。</p> <p>・ 本市産品の6次産業化に取り組み、大分市ブランド認証加工品 (O i t a B i r t h) を、県内外に広くPRしていく。</p> <p>・ 地域での話し合いにより、目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する地域計画を定め、それを実現すべく、地域内外から農地の受け手を幅広く確保しつつ、農地バンクを活用した農地の集約化等を進める。</p>									
【参考】 ・ (緑)実施計画継続事業・重点事業 ・ (黒)主な事業									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域計画推進事業 ・ おおいた農業塾開催事業 ・ 園芸振興総合対策事業 ・ おおいた産品創出・魅力発信事業 ・ 有害鳥獣捕獲事業 ・ 農地利用の最適化推進事業 									
委員意見									

※1 <評価指標の達成度> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価

(a)5点:十分に達成している、b)4点:計画以上で推移している、c)3点:概ね計画どおり、d)2点:計画以下で推移している、e)1点:あまり達成していない

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	04 にぎわいと活力あふれる豊かなまちづくり (産業の振興)				政策	12 特性を生かした生産業の 展開		
施策	25 林業の振興			部局	農林水産			
評価指標								
指標名	総合 計画	総合 戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度		目標値 (目標年度)
年間再造林面積	○	○	18ha	25ha	14ha	d	2.0点	28ha
年間素材生産量	○	○	30,225㎡ (R2年度)	25,000㎡ (R3年度)	65,662㎡ (R3年度)	a	5.0点	27,500㎡
主要林道舗装延長(累積)	○	○	3,123m	3,243m	3,239m	c	3.0点	3,900m
内部評価 (2次評価)								
分析・評価								評価
<p>【分析】 就業フェアや事業体等との連携により新規就業者数を確保している。また、供給体制の整備として、椎茸産地活性化対策事業や大分市産材利用促進事業等を展開し、事業者支援及び森林資源の利用拡大を図っている。</p> <p>【評価】 年間再造林面積については、森林所有者の負担増加により計画値を下回っているものの、年間素材生産量は目標値を上回っており、主要林道舗装延長においても、概ね計画どおりに推移しており、概ね順調に施策を展開していることから、B評価とする。</p>								<p style="font-size: 24pt; font-weight: bold;">B</p> <p>概ね順調に 施策を展開 している</p>
今後の施策展開								
<p>・年間再造林面積については、収穫期を迎えた人工林が増加し、主伐の増大が見込まれるため、引き続き必要な助成を行い、再造林及び間伐を推進する。</p> <p>・担い手の確保・育成として、引き続き林業作業士の確保・育成を支援し、林業事業体の強化に努めてまいりたい。また、適切な森林整備を継続するとともに、市産材の利用促進や生産施設・機械設備等の導入支援、林道整備等により、安定した供給体制を強化し、林業及び木材産業の振興を図る。</p>								
<p>【参考】 ・(緑)実施計画継続事業・重点事業 ・(黒)主な事業</p>								
<p>・林業作業士確保育成支援事業 ・大分市産材利用促進事業 ・椎茸産地活性化対策事業</p>								
委員意見								

※1 <<評価指標の達成度>> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
 (a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	04 にぎわいと活力あふれる豊かなまちづくり (産業の振興)	政策	12 特性を生かした生産業の 展開					
施策	26 水産業の振興	部局	農林水産					
評価指標								
指標名	総合 計画	総合 戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度		目標値 (目標年度)
増殖場の造成面積	○	○	81,663㎡	79,564㎡	82,273㎡	b	4.0点	87,000㎡
新規就業者数	○	○	30人	26人	38人	a	5.0点	34人
ブランド魚種の漁獲量	○	○	173.3t	236.4t	170.6t	d	2.0点	240.0t
内部評価 (2次評価)								
分析・評価								評価
<p>【分析】 増殖場の造成面積及び新規就業者数については順調であるが、ブランド魚種の漁獲量については新型コロナウイルス感染症に加え物価高騰の影響を受け、魚価が下がり漁業者の出漁日数が減少したことから低迷している。</p> <p>【評価】 増殖場の造成面積については、県が事業主体となり造成を進めており、新規就業者数については、フェアでの周知や就業初期の機材等取得の補助を行うことで、順調に推移している。また、ブランド魚種の漁獲量については新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受け低迷しているが、概ね順調に施策を展開していることから、B評価とする。</p>								<p style="font-size: 24pt; margin: 0;">B</p> <p style="margin: 0;">概ね順調に 施策を展開 している</p>
今後の施策展開								
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き漁場拡大による資源量及び漁獲量の増大を図るとともに、新規就業者の確保・支援に努める。 ・漁業者事業継続支援事業として、漁業者の負担を軽減することで出漁を促進し、水産物の水揚量の回復を図るため、漁業者の漁船用燃油購入費を補助する。 ・漁業活動改善促進事業として、漁船の船底掃除等、低燃費航行につながる取組に対し支援を行う。 								
【参考】 ・ (緑)実施計画継続事業・重点事業 ・ (黒)主な事業								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業者事業継続支援事業 ・ 漁業活動改善促進事業 								
委員意見								

※1 <<評価指標の達成度>> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
(a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	04 にぎわいと活力あふれる豊かなまちづくり (産業の振興)			政策	13 活気ある流通・サービス業の展開		
施策	27 商業・サービス業の振興		部局	商工労働観光			
評価指標							
指標名	総合計画	総合戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度	目標値 (目標年度)
小売商業の年間商品販売額	○	○	5,551億円	5,589億円	(H28経済センサス) 5,551億円	c 3.0点	5,700億円
卸売商業の年間商品販売額	○	○	9,127億円	9,321億円	(H28経済センサス) 9,127億円	c 3.0点	9,900億円
中心市街地の空き店舗率	○	○	9.0%	4.6%	10.7%	e 1.0点	4.6%
内部評価 (2次評価)							
分析・評価							評価
<p>【分析】 評価指標の「中小企業競争力強化支援事業・補助件数」については、コロナ禍において通年事業費からコロナ対策として予算を拡充して実施し、計画以上の達成状況となっているが、「中心部商店街の空き店舗率」の指標については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という外的要因の影響を受け、経済状況の悪化により空き店舗率の改善には至らなかった。</p> <p>【評価】 新型コロナウイルス感染症や燃料・物価高騰の影響を受けた事業者に対し、「小規模事業者競争力強化支援事業補助金」「安心おもてなしステップアップ支援事業補助金」「中小企業者等物価高騰対策支援金」等の事業の実施により、事業継続を支援することができたものの、施策の全ての評価指標が目標値を下回っていることから、施策展開における改善が必要であるため、C評価とする。</p>							C 施策展開における改善が必要
今後の施策展開							
<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗を活用した適切かつ効果的な出店についてマネジメントするテナントミックス事業やイベントの効果的組み合わせ等について企画し、マネジメントするイベントミックス事業等を実施していく。 ・各補助事業による支援の充実や大分七夕まつりや歩行者天国といったイベント開催による経済対策など、アフターコロナにおける事業者に対する支援を継続する。 ・プレミアム付商品券発行事業については、令和5年度は第4弾として発行総数を拡充して実施し、エネルギー・物価高騰の影響を受けている地域経済の回復を図る。 ・商店街団体等が実施する街路灯等の省エネ化(LEDへの更新等)や、地域における犯罪抑止を目的とした防犯カメラ設置等の取組を支援する。 							
【参考】・(緑)実施計画継続事業・重点事業 ・(黒)主な事業							
<ul style="list-style-type: none"> ・商店街活性化事業補助金 ・中小企業競争力強化支援事業 ・おおいた物産・食・観光・魅力発信事業 ・プレミアム付商品券発行事業 							
委員意見							
<p>【石井副委員長】 ・年間商品販売額などはインフレ率等のマクロ経済動向で大きく変わる。目標設定の仕組みそもそもに違和感がある。H28年経済センサス実績との対比についてもあまり意味がないと思われる。 ・空き店舗率については、個人の資産運用の側面があることから市の「目標」とするには無理があるのではないか(参考指標としての位置づけではないか)。</p> <p>【高橋委員】 ・空き店舗の増加は大分だけでなく全国的な課題で、さらにコロナ禍の影響もあるので計画通りに進めるのは難しいと思います。ただ成功している自治体の事例や民間との協業などにより、より効果的な施策立案を期待したいです。 中心地の特に小規模店舗が活性化することは、地域コミュニティの活性化にダイレクトに効果があるはずなので、引き続きご尽力よろしくお願いたします。</p> <p>【張委員】 ・評価指標として、「コロナ後の各商店街の利用者数」、「継承を必要としている店舗のマッチング比率」を検討してみてもどうか。</p>							

※1 <<評価指標の達成度>> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
(a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	04 にぎわいと活力あふれる豊かなまちづくり (産業の振興)	政策	13 活気ある流通・サービスの展開				
施策	28 流通拠点の充実	部局	商工労働観光 農林水産				
評価指標							
指標名	総合計画	総合戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度	目標値 (目標年度)
大分港大在コンテナターミナルの取扱実入りコンテナ数(外貿及び内貿)	○	○	41,937TEU (暦年)	38,000TEU (暦年)	39,326TEU (暦年)	a 5.0点	38,000TEU (暦年)
公設地方卸売市場における取扱金額(青果部)	○	○	148億円	149億円	139億円	c 3.0点	149億円
公設地方卸売市場における取扱金額(水産物部)	○	○	67億円	85億円	73億円	d 2.0点	85億円
内部評価 (2次評価)							
分析・評価							評価
<p>【分析】 これまでの継続的なポートセールスの効果により、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響による定期航路の休止や上海でのロックダウンに伴い、実入りコンテナ取扱量(外貿+内貿)は対前年比マイナスとなったものの、計画値は上回っているため概ね順調に施策を展開していると評価できる。一方で、公設地方卸売市場については、施設改修事業は計画値を上回っているものの、市場経由率は輸入食品や冷凍食品の増大、市場外流通の拡大、消費者ニーズの多様化などの変化により、漸減傾向にある。</p> <p>【評価】 実入りコンテナ取扱量(外貿+内貿)は計画値を上回っており、公設地方卸売市場における取扱金額(水産物部)は前年度実績を上回っているものの、公設地方卸売市場における取扱金額(青果部)については、前年度を下回っているため、B評価とする。</p>							<p style="font-size: 2em; margin: 0;">B</p> <p>概ね順調に 施策を展開 している</p>
今後の施策展開							
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、大分県ポートセールス実行委員会に負担金を拠出し、条件不利地域(大分市を除く県内市町村及び県外)からの利用促進を図る「大分港貨物集荷等促進対策助成金」や大分港大在コンテナターミナルへの利用転換及び新規利用の促進を図る「大分港大在コンテナターミナル利用転換促進助成金」による支援等を求めていく。 ・開場から45年以上が経過し、施設の老朽化やコールドチェーン化への対応、市場流通量の減少や賑わいづくりなど様々な課題があるため、これらの課題を解決するため市場再整備を検討していく。 ・市場関係者をはじめ生産者、消費者、庁内関係部署等と協議するとともに、他市場の取組も参考にしながら、令和6年度に向けて市場再整備の合意形成を図っていく。 							
【参考】 ・ (緑)実施計画継続事業・重点事業 ・ (黒)主な事業							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大分県ポートセールス実行委員会負担金 ・ 施設改修事業 							
委員意見							

※1 <<評価指標の達成度>> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価

28/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	04 にぎわいと活力あふれる豊かなまちづくり (産業の振興)			政策	14 安定した雇用の確保と勤 労者福祉の充実			
施策	29 安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実		部局	商工労働観光				
評価指標								
指標名	総合 計画	総合 戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度		目標値 (目標年度)
(公社)大分市シルバー人材センターの事業実績金額	○	○	7億3,768万円	7億7,200万円	7億6,311万円	c	3.0点	8億3,500万円
中小企業勤労者向けの福利厚生機関((一財)おおいた勤労者サービスセンター)の会員数	○	○	22,157人	21,949人	22,473人	b	4.0点	22,500人
UIJターン就職件数(大分産業人材センターの登録者のうち、大分市へ就職した件数)	○	○	105人	95人	100人 (累積294人)	b	4.0点	475人 (R2~R6累計)
内部評価 (2次評価)								
分析・評価								評価
<p>【分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「(公社)大分市シルバー人材センターの事業実績金額」については、コロナ禍においても概ね計画通り事業実施できた。 「中小企業勤労者向けの福利厚生機関((一財)おおいた勤労者サービスセンター)の会員数」については、順調に会員数を拡大できている。 <p>【評価】</p> <p>一部事業が実施できない状況が続いているが、評価指標については3つの指標のうち、2つが計画値を上回っており、概ね順調に施策を展開していることから、B評価とする。</p>								B 概ね順調に 施策を展開 している
今後の施策展開								
<p>・ハローワーク大分管内の有効求人倍率(令和5年6月)は1.61倍となっており、依然として企業における人材不足が顕著な状況にある。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の収束に伴い経済活動等も活性化することが予想されるとともに、少子化等による労働人口の減少が、特に本市中小企業の人材不足に拍車を掛けることが想定される。今後は、多様な人材の就労機会のための継続した取組と、企業の魅力向上・魅力発信に向けた取組や支援を行う必要がある。</p> <p>併せて、大分市シルバー人材センター、おおいた勤労者サービスセンター及びおおいた産業人材センターの事業とさらに連携を深め目標の達成を図っていく。</p>								
【参考】・(緑)実施計画継続事業・重点事業 ・(黒)主な事業								
<ul style="list-style-type: none"> ・高年齢者就業機会確保事業費補助金 ・おおいた勤労者サービスセンター補助金 ・若年者職業意識向上事業 ・障がい者職場実習促進事業 								
委員意見								
<p>【利光委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革の観点で指標の設定ができないか、今後、検討してもらいたい。 <p>例) おおいた働き方改革共同宣言・目標2021より</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 一般労働者の年間総実労働時間 2 年次有給休暇取得率 3 男性の育児休業取得率 4 25~44歳女性の就業率 								

※1 <<評価指標の達成度>> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」~「e」の5段階で評価
(a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	04 にぎわいと活力あふれる豊かなまちづくり (産業の振興)			政策	15 魅力ある観光の振興			
施策	30 魅力ある観光の振興		部局	商工労働観光				
評価指標								
指標名	総合 計画	総合 戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度		目標値 (目標年度)
観光入込客数	○	○	3,260,473人	4,880,000人	3,530,978人	d	2.0点	4,880,000人
観光宿泊客数	○	○	800,285人	1,031,000人	918,536人	d	2.0点	1,050,000人
外国人観光宿泊客数	○	○	3,680人	76,000人	5,572人	e	1.0点	82,000人
内部評価 (2次評価)								
分析・評価								評価
<p>【分析】 新型コロナウイルス感染症の影響の緩和を受け、本市への観光入込客数は対前年度8.3%増加、高崎山動物園の入園者数は対前年比31.7%増加しており、コロナ禍前の数値と比較しても8割以上の回復という結果となった。</p> <p>【評価】 高崎山自然動物園の70周年を記念するイベントの開催や誘客事業に取り組むことにより、観光入込客数や高崎山自然動物園の入園者数はコロナ禍前の8割以上の回復となっており、概ね順調に施策を展開していると判断できるためB評価とする。</p>								<p style="font-size: 24px; margin: 0;">B</p> <p style="margin: 0;">概ね順調に 施策を展開 している</p>
今後の施策展開								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2次大分市観光戦略プランを踏まえ、本市の主要観光施設である高崎山自然動物園の魅力増進、コロナ禍後のインバウンド回復を見据えた受入態勢の強化や情報発信の充実等に取り組む必要がある。 ・ 交流人口の拡大及び地域活性化を図るため、出張者等の滞在時間延長が期待できるワーケーションに関する滞在プログラムのモニターツアー等を実施する。 ・ 工場夜景クルーズのモニターツアーや御城印の作製・販売を行い、新たな観光事業の創出や観光客の増加を図る。 ・ アフターコロナに向けた観光施策の推進を図るため、高島キャンプ場を整備する。 								
<p>【参考】 ・ (緑)実施計画継続事業・重点事業 ・ (黒)主な事業</p>								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光管理費 (観光協会運営) ・ 観光リーディングプロジェクト事業 ・ 高島キャンプ場整備事業・ワーケーション推進事業 ・ 交通事業者事業継続支援事業・豊の都市おおいの情報発信事業 ・ 高崎山観察ルート整備事業・高崎山電気柵整備事業 ・ 大分市ロケーション撮影誘致促進事業 ・ 西部海岸地区憩い・交流拠点施設整備事業 ・ 動物園管理事業 								
委員意見								
<p>【山城委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大分市に宿泊していただくためには、もっと観光的な魅力を発信していく必要があるかと思えます。大分を訪れる観光客は、福岡県の方が最も多いというデータもありますので、福岡県をターゲットに発信していくと良いのではないかと思います。 								

※1 <評価指標の達成度> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価

30 (a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	将来にわたって持続可能な魅力あふれるまちづくり (都市基盤の形成)	政策	16 快適な都市構造の形成と機能の充実				
施策	31 計画的な市街地の形成	部局	土木建築 商工労働観光 都市計画				
評価指標							
指標名	総合計画	総合戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度	目標値 (目標年度)
幹線道路整備延長(累積)	○		268.2km	267.9km	270.6km	a 5.0点	268.8km
無電柱化延長(累積)	○	○	41.8km	43.0km	43.0km	b 4.0点	44.0km
都市機能誘導区域内に立地する誘導施設の割合	○	○	87%	増加	88%	a 5.0点	増加
内部評価 (2次評価)							
分析・評価							評価
<p>【分析】 ・幹線道路整備延長や住環境整備事業、街路事業等について、概ね計画以上の達成状況となっている。 ・地元要望等に基づき、道路改良、待避所設置等を行い、車両及び歩行者の安全な通行と良好な生活環境を確保するとともに、路面の老朽化が著しい路線から順次舗装修繕を行い、安全かつ円滑な道路交通の確保を図った。 ・歩行者通行量については、継続的な賑わいの創出が必要であることから、自治体情報発信拠点(まちなかビューロ)の利用者の誘致活動など、中心市街地を活用してもらうための事業を実施した。</p> <p>【評価】 都市機能誘導区域内に立地する誘導施設の割合(大分都心拠点)については、前年度と比較して増加している。また、幹線道路整備延長の累積値及び無電柱化延長も計画値を達成しており、順調に施策を展開していることから、A評価とする。</p>							A 順調に施策を展開している
今後の施策展開							
<p>・老朽化する道路インフラに対して計画的に修繕等の実施を徹底することにより、長寿命化を図りトータルコストを削減するとともに安全で安心できる道路の整備を行う。 ・新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが5類に変更されたことから、アフターコロナを見据え、商業施設や商店街の賑わいを取り戻すため、令和4年度に策定した第4期中心市街地活性化基本計画に基づき、各種事業に引き続き取り組んでいくことが重要である。 ・鉄道残存敷整備・活用事業として、大分駅付近連続立体交差事業により生み出された鉄道残存敷において、地元協議を行いながら、大友氏遺跡等の周辺施設との連携を考慮した利活用を検討し、西大分港からJR大分駅、大友氏遺跡、大分川へとつながる東西軸としての整備を行う。</p>							
【参考】 ・(緑)実施計画継続事業・重点事業 ・(黒)主な事業							
<p>・中心市街地プロモーション事業・岡原周辺にぎわい創出促進事業 ・大分駅東22街区・54街区整備事業・末広町一丁目地区市街地再開発事業 ・西大分駅周辺整備事業・地区拠点等整備事業【基本計画検討業務】 ・鉄道残存敷整備・活用事業 ・街路事業(王子町権迫線)・市道皆春鶴崎線外1路線道路改築事業 ・街路事業 松原国宗線(猪野工区)・立地適正化計画改訂事業</p>							
委員意見							

※1 <<評価指標の達成度>> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
 (a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	将来にわたって持続可能な魅力あふれるまちづくり (都市基盤の形成)				政策	16 快適な都市構造の形成と機能の充実		
施策	32 交通体系の確立			部局	企画 土木建築 都市計画			
評価指標								
指標名	総合計画	総合戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度		目標値 (目標年度)
人口1人当たりの年間公共交通(鉄道・バス)利用回数	○	○	35.6回	48.0回	38.9回	d	2.0点	48.0回
市が設置する中心市街地における駐輪場の収容台数	○	○	4,197台	4,227台	4,197台	c	3.0点	4,750台
内部評価 (2次評価)								
分析・評価								評価
<p>【分析】</p> <p>・人口1人当たりの年間公共交通(鉄道・バス)利用回数は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和4年度実績が38.9回となっており、計画値(48.0回)を下回っている。また、市が設置する中心市街地における駐輪場の収容台数についても、増加できておらず、計画値を下回っている。</p> <p>【評価】</p> <p>人口1人当たりの年間公共交通(鉄道・バス)利用回数は、前回実績値(35.6回)から38.9回と向上したものの、全ての評価指標において計画値を下回っており、施策展開における改善が必要であるため、C評価とする。</p>								<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">C</p> <p>施策展開における改善が必要</p>
今後の施策展開								
<p>・交通計画に基づき、路線ネットワーク、ダイヤ等の見直しについて、路線バスを鉄道駅と接続するなど事業者間の連携を含め、利用者の利便性の向上や持続可能な地域旅客運送サービスの提供に資する取組について調査・検討を行う。</p> <p>・交通事業者の持続的な地域公共交通の維持に資する取組を支援する。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症や燃料費高騰などの影響により、路線バスの収支が悪化している乗合バス事業者の運行経費(令和5年10月～3月運行分)を支援する。</p> <p>・本市における空飛ぶクルマの実現に向け民間事業者等による空飛ぶクルマの試験飛行を実施するとともに、新たに高齢化が進む住宅団地における移動支援の検討を行う。</p>								
【参考】 ・(緑)実施計画継続事業・重点事業 ・(黒)主な事業								
<p>・ 新たなモビリティサービス事業(空飛ぶクルマ)</p> <p>・ 生活交通確保維持事業</p> <p>・ 交通渋滞対策・公共交通利用促進事業</p> <p>・ 駐輪場整備事業</p> <p>・ バイシクルフレンドリータウン創造事業</p>								
委員意見								
<p>【小澤委員】</p> <p>・ライドシェアの可能性も検討されてはいかがでしょうか(日本の法律が許す範囲で)。</p>								

※1 <<評価指標の達成度>> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
(a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	将来にわたって持続可能な魅力あふれるまちづくり (都市基盤の形成)	政策	16 快適な都市構造の形成と機能の充実				
施策	33 地域情報化の推進	部局	企画				
評価指標							
指標名	総合計画	総合戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度	目標値 (目標年度)
オープンデータ公開件数	○	○	1,397件	1,210件	1,720件	a 5.0点	1,500件
大分市無料公衆無線LANアクセスポイント数(累積)	○	○	97AP	93AP	97AP	b 4.0点	100AP
ICT講習会受講者数(累積)	○	○	72,644人	69,000人	73,316人	b 4.0点	76,000人
内部評価(2次評価)							
分析・評価							評価
<p>【分析】 本市が保有するデータについて民間利用を見据えた庁内の取組を推進した結果、計画値を上回った。また庁内で職員研修を行い、オープンデータ利活用に関する理解を深めた。大分市無料公衆無線LANアクセスポイント数について、令和5年度は新規施設を中心に整備拠点を検討しており、目標値に向け順調に推移している。</p> <p>【評価】 全ての評価指標が計画値以上で推移しており、順調に施策を展開していることから、A評価とする。</p>							<p style="font-size: 24pt; margin: 0;">A</p> <p style="margin: 0;">順調に施策を展開している</p>
今後の施策展開							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後とも適切なシステム導入を目指し、運用経費の節減を行いながら、各種法改正に対応した適切な改修費の確保の実施に合わせ、更なる情報セキュリティ強化を行う。 ・ 大分市情報化推進計画に掲げる情報化施策に沿った事業を実施を行っていくとともに、デジタルトランスフォーメーション(DX)に対応するため、情報システム標準化対応事業等に取り組む。 ・ 地域情報化を推進し、市民・企業への行政サービスの向上を図るため、「たのうらら」及び荷揚町小学校跡地複合公共施設に公衆無線LANを整備するとともに、オープンデータ利活用推進のため、アプリコンテストを行う。 ・ 住民の利便性の向上及び業務効率化を図るため、AI-OCRやRPAなどを導入するとともに、情報セキュリティ確保のためにシステム監査を行う。 							
<p>【参考】 ・ (緑)実施計画継続事業・重点事業 ・ (黒)主な事業</p>							
<ul style="list-style-type: none"> ・ オープンデータ利活用推進事業 ・ 大分市無料公衆無線LAN整備事業 ・ 地域情報化(ICT)推進事業 ・ デジタルトランスフォーメーション(DX)推進事業 							
委員意見							

※1 <<評価指標の達成度>> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
(a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	将来にわたって持続可能な魅力あふれるまちづくり (都市基盤の形成)	政策	17 安定した生活基盤の形成				
施策	34 水道の整備	部局	上下水道				
評価指標							
指標名	総合 計画	総合 戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度	目標値 (目標年度)
基幹管路の耐震適合率	○		70.0%	70.8%	70.2%	c 3.0点	72.5%
建設改良積立金	○		26億円	25億円	32億円	b 4.0点	35億円
内部評価 (2次評価)							
分析・評価							評価
<p>【分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「基幹管路の耐震適合率」については、ダウンサイジングを図りながら管路更新を実施してきたが、計画値を下回った。 水道施設の更新にあたり、水道施設全体の最適化を検討しながら、導・送水管と口径400mm以上の配水本管からなる基幹管路の耐震化を進めている。 「建設改良積立金」については、令和3年度の当年度純利益から6億円を積立て計画値を達成している。 <p>【評価】</p> <p>「基幹管路の耐震適合率」については計画値を下回ったものの、「建設改良積立金」については、令和3年度の当年度純利益から6億円を積立て計画値を達成しており、概ね順調に施策を展開していることから、B評価とする。</p>							<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p> <p>概ね順調に 施策を展開 している</p>
今後の施策展開							
<ul style="list-style-type: none"> 基幹管路については、令和30年度までに耐震化適合率が100%になるように、「基幹管路耐震化計画」(令和5年度策定予定)に沿って計画的に取り組む。 今後増加が見込まれている主要浄水場を中心とした水道施設全体の更新需要と巨大地震に備えた施設の強靱化にかかる事業費を賄いながら、健全財政を堅持する取組を実施する。 							
【参考】 ・ (緑)実施計画継続事業・重点事業 ・ (黒)主な事業							
<ul style="list-style-type: none"> 管路更新(耐震化)事業 							
委員意見							

※1 <<評価指標の達成度>> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価

(a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	将来にわたって持続可能な魅力あふれるまちづくり (都市基盤の形成)	政策	17 安定した生活基盤の形成				
施策	35 下水道の整備	部局	上下水道				
評価指標							
指標名	総合 計画	総合 戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度	目標値 (目標年度)
下水処理人口普及率	○		66.2%	69.6%	68.2%	c 3.0点	72.0%
企業債残高	○		778.0億円	768.7億円	774.2億円	c 3.0点	745.2億円
内部評価 (2次評価)							
分析・評価							評価
<p>【分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「下水処理人口普及率」については、計画区域内の集中浄化槽団地の引取りや人口密集地に向けた汚水幹線の重点的整備などの効果により計画値の9割以上を達成している。 「企業債残高」については、企業債発行額を企業債元金償還額の範囲内に抑え残高の減少に努めたが、計画値に達しなかった。 <p>【評価】</p> <p>公共下水道の普及率向上のため、人口密集地区へ向けた汚水幹線の重点的整備と面的整備の両方に取り組んでおり、「企業債残高」についても削減が進んでいる。概ね順調に施策を展開していることから、B評価とする。</p>							<p style="font-size: 24px; margin: 0;">B</p> <p style="margin: 0;">概ね順調に 施策を展開 している</p>
今後の施策展開							
<ul style="list-style-type: none"> 「下水処理人口普及率」については、人口密集地区や早期接続の見込める地区の優先整備や設計・施工一括発注方式により効率的・効果的な整備に取り組むほか、集中浄化槽団地の引取りなど、引き続き多様な事業手法を駆使して普及促進を図る。 「企業債残高」については、償還残高は減少傾向にあるものの、今後、使用料増収による経営の健全化を図るために、単独事業である面的整備を拡大実施することから、次年度以降、一時的に企業債発行額が元金償還額を上回る見込みである。 							
【参考】 ・ (緑)実施計画継続事業・重点事業 ・ (黒)主な事業							
<ul style="list-style-type: none"> 管渠建設事業 							
委員意見							

※1 <<評価指標の達成度>> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
(a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	将来にわたって持続可能な魅力あふれるまちづくり (都市基盤の形成)			政策	17 安定した生活基盤の形成			
施策	36 安全で快適な住宅の整備		部局	市民 都市計画 土木建築				
評価指標								
指標名	総合 計画	総合 戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度		目標値 (目標年度)
住宅の耐震化率	○	○	86.6%	96.5%	87.3%	e	1.0点	98.0%
大分市住み替え情報バンクの登録数(累積)	○	○	359件	308件	454件	a	5.0点	380件
「移住者居住支援事業」による移住世帯数(累積)		○	109世帯	107世帯	143世帯	a	5.0点	143世帯
内部評価 (2次評価)								
分析・評価								評価
<p>【分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価指数の「大分市住み替え情報バンクの登録数(累積)」と「移住者居住支援事業」による移住世帯数(累積)は目標値に達成している。 住宅の耐震化率は計画値を割り込んでおり、関連事業の申請数が伸びていない点が課題である。 「老朽危険空き家等除却促進事業」の評価指数については、「除却戸数」が計画以下で推移している。 <p>【評価】</p> <p>住宅の耐震化率は計画値を割り込んでいるものの、「大分市住み替え情報バンクの登録数(累積)」と「移住者居住支援事業」による移住世帯数(累積)は目標値を達成していることから、B評価とする。</p>								<p style="font-size: 24px; font-weight: bold;">B</p> <p>概ね順調に 施策を展開 している</p>
今後の施策展開								
<ul style="list-style-type: none"> 「大分市公営住宅等長寿命化計画」により、ライフサイクルコストの縮減を図るとともに、市営住宅全般の管理運営制度を見直し、安全安心な市営住宅を長期にわたって提供できるよう取り組む。 指定管理者と共に、住宅使用料の収納率向上はもとより、入居率の向上、子育て、高齢者の見守り、生活相談などの機能を補完する地域サービス・コミュニティの構築に取り組むことで、多世代が快適に暮らせる住環境の整備を図る。 住宅等ストック対策事業(空き家等対策事業)では、空き家状態が続き周辺環境に多大な影響を及ぼしている空き家について、引き続き所有者等に適切な管理を促すとともに、大分市空家等対策計画の改定に伴い、地域特性に応じた空き家の有効活用を検討するための調査・研究を行い、新しい補助制度の事業内容についても検討する。 移住者居住支援事業については、大分県等と連携しながら、首都圏(東京開催)・関西圏(大阪開催)・福岡での移住希望者を対象とした移住フェアに参加し本事業を通じた移住の促進を図る。 								
【参考】 ・(緑)実施計画継続事業・重点事業 ・(黒)主な事業								
<ul style="list-style-type: none"> ふるさと団地の元気創造推進事業・住宅等ストック対策事業(空き家等対策事業) 移住者居住支援事業・老朽危険空き家等除却促進事業 子育て・高齢者世帯リフォーム支援事業 三世帯近居・同居ハッピーライフ推進事業・中古住宅で始める子育て新生活応援事業 市営住宅管理業務・住戸改善事業 住宅耐震化総合支援事業(診断)・住宅耐震化総合支援事業(改修) がけ地近接等危険住宅移転事業・住居表示整備事業 								
委員意見								

※1 《評価指標の達成度》 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
(a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	将来にわたって持続可能な魅力あふれるまちづくり (都市基盤の形成)			政策	17 安定した生活基盤の形成			
施策	37 公園・緑地の保全と活用		部局	都市計画				
評価指標								
指標名	総合 計画	総合 戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度		目標値 (目標年度)
市民1人当たりの都市公園面積	○		14.89㎡	14.93㎡	14.96㎡	b	4.0点	15.03㎡
多目的トイレの設置数	○		152箇所	156箇所	156箇所	b	4.0点	165箇所
公園愛護会(清掃・トイレ)の結成数	○		438団体	420団体	437団体	a	5.0点	420団体以上
内部評価(2次評価)								
分析・評価								評価
<p>【分析】 令和5年3月31日現在の都市公園数は798箇所、面積は7,111,448㎡、「市民一人当たりの都市公園面積」は14.96㎡となっており、全国平均を大きく上回っている。「多目的トイレの設置数」についても、既存トイレの改修工事等により計画通りに推移している。また、「公園愛護会の結成数」については、高齢化による担い手不足が顕在化してきており、解散を申し出る団体も少なくないが、市報やホームページ等を活用するなか、計画以上の団体数を維持できている。</p> <p>【評価】 各指標について計画通りに推移しており、順調に施策を展開していることから、A評価とする。</p>								A 順調に施策を展開している
今後の施策展開								
<ul style="list-style-type: none"> ・課全体の予算額の内およそ65%が既存公園の維持管理に係る経費となっている。既存公園の老朽化や団地開発等で新たに公園を引き継ぐことにより維持管理費が今後も増大していく中で、「公園照明LED化ESCO事業」の実施による電気料金の削減や、地域住民による公園愛護会活動の更なる啓発に努めるなど、効率的・効果的な維持管理を行っていく。 ・公園施設長寿命化計画に基づき、計画的に遊具等の補修・更新を行い事業費の平準化を図るとともに、予防保全の観点から施設の機能保全を行いライフサイクルコストの低減を図る。 ・都市公園ストック再編事業として、小規模開発に伴い狭小な児童公園が密集して整備されている地区では、公園機能の重複がみられ、少子高齢化に伴い利用者が減少していることから、地域ニーズに合わせた公園機能を整備する。 								
【参考】 ・(緑)実施計画継続事業・重点事業 ・(黒)主な事業								
<ul style="list-style-type: none"> ・鶴崎公園整備事業(近隣公園)・都市公園ストック再編事業 ・都市公園事業(街区公園)・都市公園事業(近隣公園) ・公園管理事業・佐野植物公園管理事業 ・大分城址公園整備・活用事業 ・公園施設長寿命化事業 ・都市公園安全・安心対策事業 								
委員意見								

※1 <<評価指標の達成度>> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
 (a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	自然と共生する潤い豊かなまちづくり (環境の保全)			政策	18 豊かな自然の保全と緑の創造			
施策	38 豊かな自然の保全と緑の創造		部局	都市計画 土木建築 環境				
評価指標								
指標名	総合計画	総合戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度		目標値 (目標年度)
「郷土の緑保全地区」区域指定面積(累積)	○	○	81.7ha	81.7ha	81.7ha	b	4.0点	90.0ha
内部評価 (2次評価)								
分析・評価								評価
<p>【分析】 施策を構成する主な事業のうち、人とみどりふれあいいちについて、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の緩和等の影響により、3年ぶりに計画を上回ることとなった。また、みどりの夢銀行登録者累計数についても384人増加し目標を上回ることとなった。加えて、緑化啓発事業において、苗木や花の種子の無料配布を行うとともに、人とみどりふれあいいちの開催等を通じて、市民一人ひとりの身近な花や緑を愛し育てる意識の高揚・定着を目指し、緑あふれる魅力的なまちづくりに取り組んでいる。</p> <p>【評価】 計画値を下回っている事業があるものの、施策の評価指標である「郷土の緑保全地区」区域指定面積については、計画値を達成しており、順調に施策を展開していることから、A評価とする。</p>								A 順調に施策を展開している
今後の施策展開								
<p>・緑は、人と全ての生物が生きていくための生態系の基盤、地球環境を守るかけがえのない自然資源であり、やすらぎやレクリエーションの場、心身の健康増進や自然災害予防につながるものである。引き続き、緑が持つ「環境保全」「レクリエーション」「防災」「景観形成」の役割を発揮できるように各種施策を展開する。</p> <p>・今後においても、大分市環境基本計画に基づく環境分野に関する各種計画及び施策を立案・実施し、「いつまでも人と自然が共生し 安心して暮らせるまち おおいた」の実現へ誘導を図る。</p> <p>また、令和7年3月改定に向けて、大分市環境基本計画の改定作業に着手したことから、大分市環境審議会や改定に係る専門部会の開催を通じて、広く意見をいただくなかで、より実効性のある施策を盛り込んでいく。</p>								
【参考】・(緑)実施計画継続事業・重点事業 ・(黒)主な事業								
<ul style="list-style-type: none"> ・郷土の緑保全事業 ・名木保存事業 ・おおいた人とみどりふれあいいち ・緑化啓発事業 (緑化推進花いっぱい運動) ・みんなの森づくり事業 ・特定外来生物対策事業 								
委員意見								

※1 <<評価指標の達成度>> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価

38 (a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	自然と共生する潤い豊かなまちづくり (環境の保全)	政策	19 快適な生活環境の確立				
施策	39 廃棄物の適正処理	部局	市民 環境				
評価指標							
指標名	総合 計画	総合 戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度	目標値 (目標年度)
ごみ排出量	○		160,185t	155,769t	159,259t	c 3.0点	153,465t
おおいた優良産廃処理業者認定数	○		17事業者	25事業者	18事業者	d 2.0点	30事業者
きれいにしようえおおいた推進事業活動団体登録数	○	○	267団体	276団体	268団体	c 3.0点	280団体
内部評価 (2次評価)							
分析・評価							評価
<p>【分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環型社会の形成のため、有料指定ごみ袋事業をはじめとした各事務事業を実施し、ごみの減量とリサイクルを推進したことにより、2022年度のごみ排出量は、2021年度と比較して減少したものの、計画値を下回った。 ・産業廃棄物の適正処理を推進するため、処理施設の監視・指導を行うとともに、おおいた優良産廃処理業者評価制度による認定取得を促進したが、認定数は計画値を下回った。 ・まちの美化対策を推進するため、条例に基づき、指導員による指導・啓発を行うとともに、地域で美化活動を行う「きれいにしようえおおいた推進事業登録団体」への支援を行ったことにより、2022年度の登録団体数は、2021年度と比較して増加したものの、計画値を下回った。 <p>【評価】</p> <p>評価指標については、前年度を上回っているものの、計画値に達しておらず、施策展開における改善が必要であるため、C評価とする。</p>							<p style="font-size: 2em; margin: 0;">C</p> <p style="margin: 0;">施策展開における改善が必要</p>
今後の施策展開							
<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ排出量が計画値を下回っていることから、3きり運動推進事業やごみ減量リサイクル啓発推進事業による啓発を行い、4Rの取組をより一層促進することで、ごみの減量とリサイクルを推進する。 ・新環境センター整備事業について、令和5年度は電力を供給するための特別高圧電線路整備に係る事業を引き続き実施するほか、センターの設計、建設工事に着手予定であり、適切な履行が確保できるよう、モニタリング業務委託を実施する。 							
【参考】 ・(緑)実施計画継続事業・重点事業 ・(黒)主な事業							
<ul style="list-style-type: none"> ・日本一きれいなまちづくり事業・有料指定ごみ袋事業 ・資源物回収処理事業・ごみステーション設置等補助事業 ・3きり運動推進事業・有価物集団回収運動促進事業 ・ごみ減量リサイクル啓発推進事業・ごみステーションパトロール事業 ・資源物収集運搬事業・ごみ収集一般事業 ・し尿収集一般事業・一般廃棄物対策事業 (許可・監視業務) ・産業廃棄物対策事業 (許可・監視業務) ・産業廃棄物処理施設行政代執理事業 ・ポイ捨て等防止対策事業 ・新環境センター整備事業 							
委員意見							
<p>【小澤委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おおいた優良産廃処理業者認定にあたり、何らかのメリット、インセンティブのオプションをさらに検討されてはいかがでしょうか。 							

※1 <<評価指標の達成度>> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
(a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	自然と共生する潤い豊かなまちづくり (環境の保全)	政策	19 快適な生活環境の確立				
施策	40 清潔で安全な生活環境の確立	部局	福祉保健 環境				
評価指標							
指標名	総合 計画	総合 戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度	目標値 (目標年度)
狂犬病予防注射率	○		65.9%	69.0%	70.3%	b 4.0点	75.0%
食中毒発生件数	○		1件	0件	3件	c 3.0点	0件
内部評価 (2次評価)							
分析・評価							評価
<p>【分析】 狂犬病予防注射率については、令和3年度実績の65.9%から令和4年度実績70.3%に増加し、計画値を上回っている。 ・食中毒発生件数については、令和3年度実績の1件から令和4年度実績が3件となり、わずかに増加している。</p> <p>【評価】 食中毒発生件数は、計画値を下回っているものの、狂犬病予防注射率については、計画値を上回っており、概ね順調に施策を展開していることから、B評価とする。</p>							B 概ね順調に 施策を展開 している
今後の施策展開							
<ul style="list-style-type: none"> ・食中毒発生件数の予防については、毎年、事業者に対し講習会や文書により注意喚起を行っており、引き続き事業者及び消費者に対し、講習会や広報媒体等を利用した幅広い啓発を行う。 ・動物愛護マナーアップ推進事業、狂犬病予防事業については、ハガキや様々な媒体を使って啓発を行っているところであり、動物愛護センターにおける動物愛護イベント等を通じてさらなる啓発を行う。 							
【参考】 ・ (緑)実施計画継続事業・重点事業 ・ (黒)主な事業							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 動物愛護センター運営事業 ・ 環境衛生事業 ・ 食品衛生事業 ・ 衛生検査事業 ・ 墓地事業 							
委員意見							

※1 <<評価指標の達成度>> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価

40 a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	自然と共生する潤い豊かなまちづくり (環境の保全)	政策	19 快適な生活環境の確立				
施策	41 公害の未然防止と環境保全	部局	環境				
評価指標							
指標名	総合 計画	総合 戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度	目標値 (目標年度)
大気汚染物質に係る環境基準達成項目数(全11項目)	○		10項目	11項目	10項目	c 3.0点	11項目
公共用水域の環境基準(BOD、COD)達成率	○		94.7%	100%	94.7%	c 3.0点	100%
内部評価 (2次評価)							
分析・評価							評価
<p>【分析】 ・大気、騒音、水質等の環境基準はおおむね達成しているが、評価指標の「大気汚染物質に係る環境基準達成項目数(全11項目)」の内、「光化学オキシダント」については、昨年度に引き続き、環境基準を達成することができなかった。 ・公共用水域の環境基準(BOD、COD)達成率についても同様に令和3年度と比較して、同率となっている。</p> <p>【評価】 各指標について、概ね計画どおり推移しており、概ね順調に施策を展開していることから、B評価とする。</p>							B 概ね順調に 施策を展開 している
今後の施策展開							
・大気、騒音、水質等の一般環境を計画的に監視し、汚染状況等の把握に努めるとともに、環境関連法令等に基づき、工場・事業場の立入検査等を実施し、規制の徹底と適正な施設管理を指導する。							
【参考】 ・ (緑)実施計画継続事業・重点事業 ・ (黒)主な事業							
・大気汚染常時監視事業 ・水質監視事業 ・騒音振動調査測定事業							
委員意見							

※1 <評価指標の達成度> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
 (a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)

令和5年度 政策・施策評価 個表

基本政策	自然と共生する潤い豊かなまちづくり (環境の保全)	政策	19 快適な生活環境の確立				
施策	42 地球環境問題への取組	部局	環境				
評価指標							
指標名	総合 計画	総合 戦略	実績 (R3)	計画 (R4)	実績 (R4)	達成度	目標値 (目標年度)
大分市全域の温室効果ガス排出量《基準年度 (2013年度: 26,915千t-CO2) との比較値》	○		H30実績 13.8%減	11.9%減	R1実績 11.9%減	c 3.0点	8.9%減
内部評価 (2次評価)							
分析・評価						評価	
<p>【分析】 大分市全域の温室効果ガス排出量については、H30年度13.8%減に対してR1年度は11.9%となっており、減少率は減っているものの、計画値どおりとなっている。</p> <p>【評価】 評価指標の大分市全域の温室効果ガス排出量については、市民、事業者、行政が連携した温室効果ガス排出量の削減に向けた取組を実施する中で、概ね順調に施策を展開していることから、B評価する。</p>						<p style="font-size: 24pt; margin: 0;">B</p> <p style="margin: 0;">概ね順調に 施策を展開 している</p>	
今後の施策展開							
<p>・令和3年3月に策定した大分市地球温暖化対策実行計画に基づき、温室効果ガス削減目標の達成に向けた各種取組を実施しているが、計画策定後に「地球温暖化対策の推進に関する法律」の改正や国の「地球温暖化対策計画」が改定されたため、国と目標値等との整合性を図るため、今年度より「大分市地球温暖化対策実行計画」の改定に着手する。</p>							
【参考】・(緑)実施計画継続事業・重点事業 ・(黒)主な事業							
<p>・環境保全活動団体のネットワーク事業</p>							
委員意見							

※1 <評価指標の達成度> 目標値に対する進捗状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価
(a/5点:十分に達成している、b/4点:計画以上で推移している、c/3点:概ね計画どおり、d/2点:計画以下で推移している、e/1点:あまり達成していない)